

山梨県産業振興ビジョンに関する アンケート調査結果

1. 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の仕様	1
(3) 回収結果	1
(4) 本報告書中の記号について	1
2. 調査結果	2
(1) 回答者の属性	2
問1：所在市町村（SA）	2
問2：主な業種（SA）	3
問3-1：従業員数（SA）	4
問3-2：資本金（SA）	5
問3-3：前年度の売上高（SA）	6
問3-4：事業所の形態（SA）	7
(2) 経営状況	8
問4-1：製品・サービス（SA）	8
問4-2：直近3年における業績（売上高）の推移（SA）	9
問4-3：現在取り組んでいる事業分野における市場の将来展望（SA）	10
問4-4：当該市場における貴事業所のシェアはどのように考えるか（SA）	11
問4-5：問4-4で拡大していくと考えた場合の理由（SA）	12
問4-6：問4-4で縮小していくと考えた場合の理由（SA）	13
問5：問4-3の現在の事業分野における市場の将来展望を踏まえた上での今後の対応（MA）	14
(3) 現在考えている成長分野、新業務	16
問6-1：今後、貴事業所が取り組むべき成長分野（MA）	16
問6-2：一般論として、これから山梨県産業界が目指すべき成長分野（MA）	17
問7-1：今後、成長が見込まれる分野に対して必要と考える貴事業所の取り組み（MA）	20
問7-2：一般論として、これから山梨県産業界に必要とされる取り組み（MA）	21
(4) クリーンエネルギー関連事業への取り組み	23
問8：貴事業所の事業活動において、クリーンエネルギー関連事業の実績または今後の予定はあるか（SA）	23
問9：貴事業所が実施又は予定しているクリーンエネルギー関連事業はどの種類か（MA）	24
問12：今後、山梨県の産業社会の望ましい姿についてどのように考えるか（SA）	25

3. 調査分析（クロス集計分析）	27
(1) 設問別クロス／問2：業種	27
【食料品】問2：業種×問6-1：今後貴事業所が取り組むべき成長分野（MA）	27
【生産用機械器具】問2：業種×問6-1：今後貴業者が取り組むべき成長分野（MA）	28
【電子部品・デバイス・電子回路】問2：業種×問6-1：今後貴業者が取り組むべき成長分野（MA）	29
【電気機械器具】問2：業種×問6-1：今後貴業者が取り組むべき成長分野（MA）	30
【その他の製造業】問2：業種×問6-1：今後貴業者が取り組むべき成長分野（MA）	31
【医療業】問2：業種×問6-1：今後貴業者が取り組むべき成長分野（MA）	32
【食料品】問2：業種×問7-1：今後、成長が見込まれる分野に対して必要と考える貴事業所の取り組み（MA）	33
【生産用機械器具】問2：業種×問7-1：今後、成長が見込まれる分野に対して必要と考える貴事業所の取り組み（MA）	34
【電子部品・デバイス・電子回路】問2：業種×問7-1：今後、成長が見込まれる分野に対して必要と考える貴事業所の取り組み（MA）	35
【電気機械器具】問2：業種×問7-1：今後、成長が見込まれる分野に対して必要と考える貴事業所の取り組み（MA）	36
【その他の製造業】問2：業種×問7-1：今後、成長が見込まれる分野に対して必要と考える貴事業所の取り組み（MA）	37
【医療業】問2：業種×問7-1：今後、成長が見込まれる分野に対して必要と考える貴事業所の取り組み（MA）	38
(2) 設問別クロス／問4-3：現在取り組んでいる事業分野における市場の将来展望	39
【拡大していく】問4-3：現在取り組んでいる事業分野における市場の将来展望×問6-1：今後貴事業者が取り組むべき成長分野（MA）	39
【縮小していく】問4-3：現在取り組んでいる事業分野における市場の将来展望×問6-1：今後貴事業者が取り組むべき成長分野（MA）	40
【変わらない】問4-3：現在取り組んでいる事業分野における市場の将来展望×問6-1：今後貴事業者が取り組むべき成長分野（MA）	41
【拡大していく】問4-3：現在取り組んでいる事業分野における市場の将来展望×問6-2：一般論として、これから山梨県産業界が目指すべき成長分野（MA）	43
【縮小していく】問4-3：現在取り組んでいる事業分野における市場の将来展望×問6-2：一般論として、これから山梨県産業界が目指すべき成長分野（MA）	44
【変わらない】問4-3：現在取り組んでいる事業分野における市場の将来展望×問6-2：一般論として、これから山梨県産業界が目指すべき成長分野（MA）	45

(3) 設問別クロス／問4 - 4 : 当該市場における貴事業所のシェアはどうか 考えるか.....	47
【拡大していく】問4 - 4 : 当該市場における貴事業所のシェアはどうか ×問6 - 1 : 今後貴事業者が取り組むべき成長分野 (MA)	47
【縮小していく】問4 - 4 : 当該市場における貴事業所のシェアはどうか ×問6 - 1 : 今後貴事業者が取り組むべき成長分野 (MA)	48
【変わらない】問4 - 4 : 当該市場における貴事業所のシェアはどうか ×問6 - 1 : 今後貴事業者が取り組むべき成長分野 (MA)	49
【拡大していく】問4 - 4 : 当該市場における貴事業所のシェアはどうか ×問6 - 2 : 一般論として、これから山梨県産業界が目指すべき成長分野 (MA)	51
【縮小していく】問4 - 4 : 当該市場における貴事業所のシェアはどうか ×問6 - 2 : 一般論として、これから山梨県産業界が目指すべき成長分野 (MA)	52
【変わらない】問4 - 4 : 当該市場における貴事業所のシェアはどうか ×問6 - 2 : 一般論として、これから山梨県産業界が目指すべき成長分野 (MA)	53

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

山梨県における産業動向の把握等を行うとともに、本年度策定することとしている産業振興ビジョンを始め、今後の各般にわたる産業振興施策立案の基礎資料とする。

(2) 調査の仕様

仕様項目	仕 様
調査対象者	県内事業所 1,050 社
対象業種	農業、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、医療・福祉業（うち医療業、保険衛生、社会保険・社会福祉・介護）など
標本抽出方法	平成 16 年事業所企業統計における事業所名簿を用いて、対象業種に属する常用雇用者数 10 人以上の全事業所及び 9 人以下の事業所から無作為抽出
調査方法	郵送による自記式
調査基準日	平成 22 年 8 月 12 日
調査期間	平成 22 年 8 月 12 日～8 月 25 日

(3) 回収結果

- ・送付数 1,050
- ・回収数 308（回収率29.3%）
うち有効回答数306（無効2）

(4) 本報告書中の記号について

(SA)・・・単一回答 (Single Answer) の略。選択回答は 1 項目のみ。

(MA)・・・複数回答 (Multi Answer) の略。回答する選択肢の数に制限がある。
(一部回答を限定しているものもある。)

n・・・回答者数 (number) をあらわす。「n=100」は、回答者数が 100 人ということ。

質問には単一回答 (SA) と複数回答 (MA) の設問があり、複数回答の場合は合計値が 100%にならない場合がある。

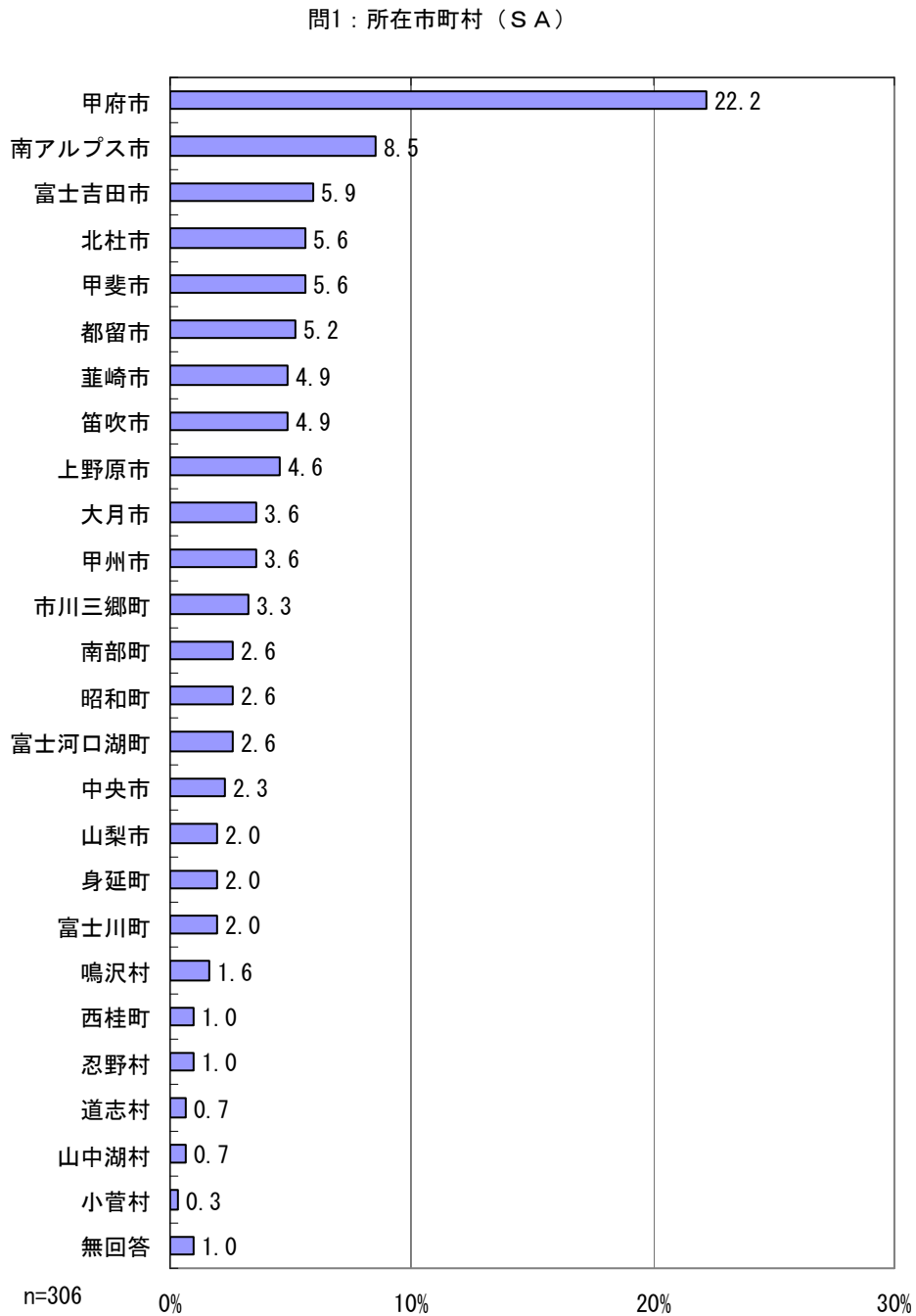
アンケート結果の数値は小数点第 2 位を四捨五入しており、単一回答であっても合計が 100%にならない場合がある。

2. 調査結果

(1) 回答者の属性

問1：所在市町村（SA）

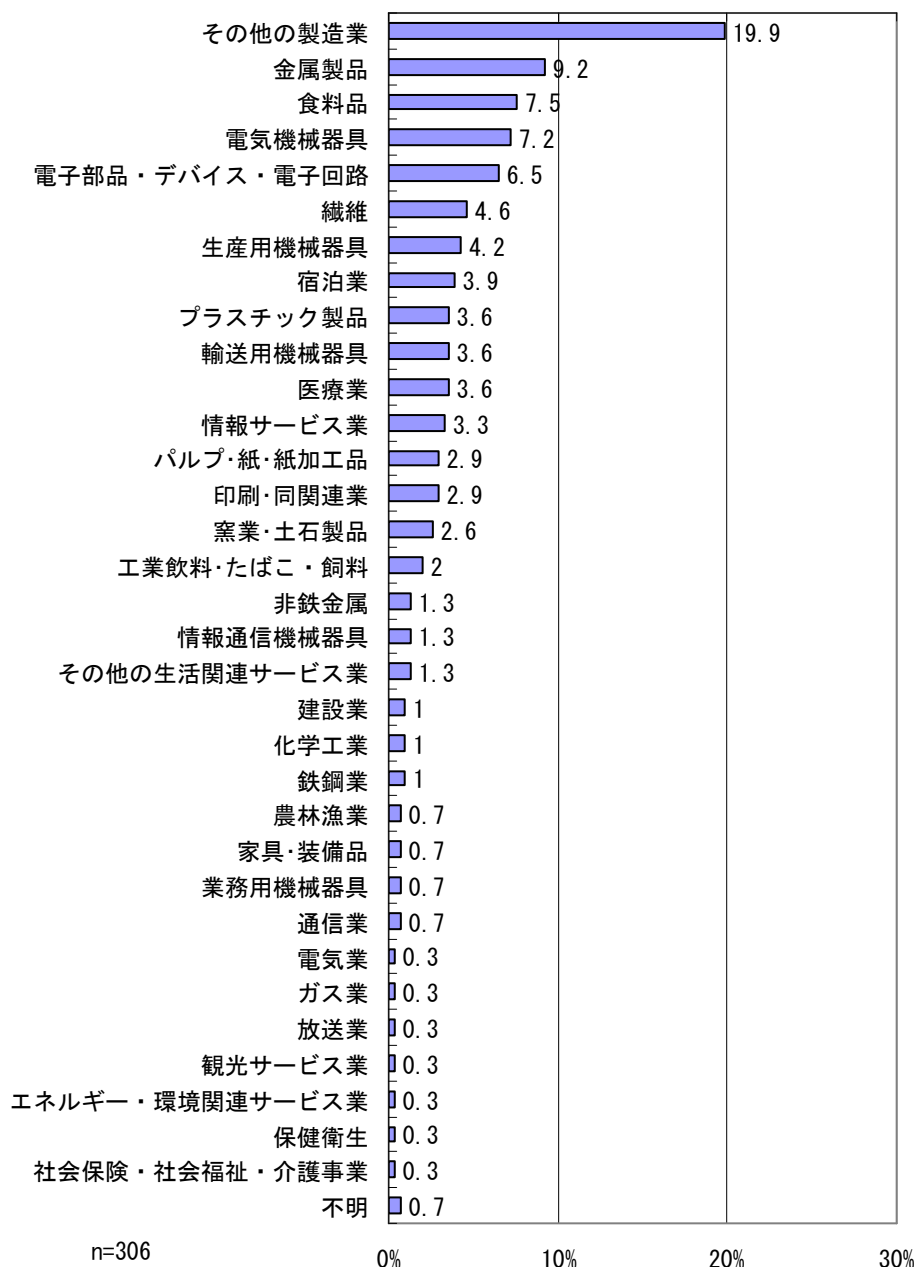
回答事業所の所在市町村は、「甲府市」が最も多く 22.2%、次いで「南アルプス市」が 8.5%、「富士吉田市」が 5.9%となっている。



問2：主な業種（SA）

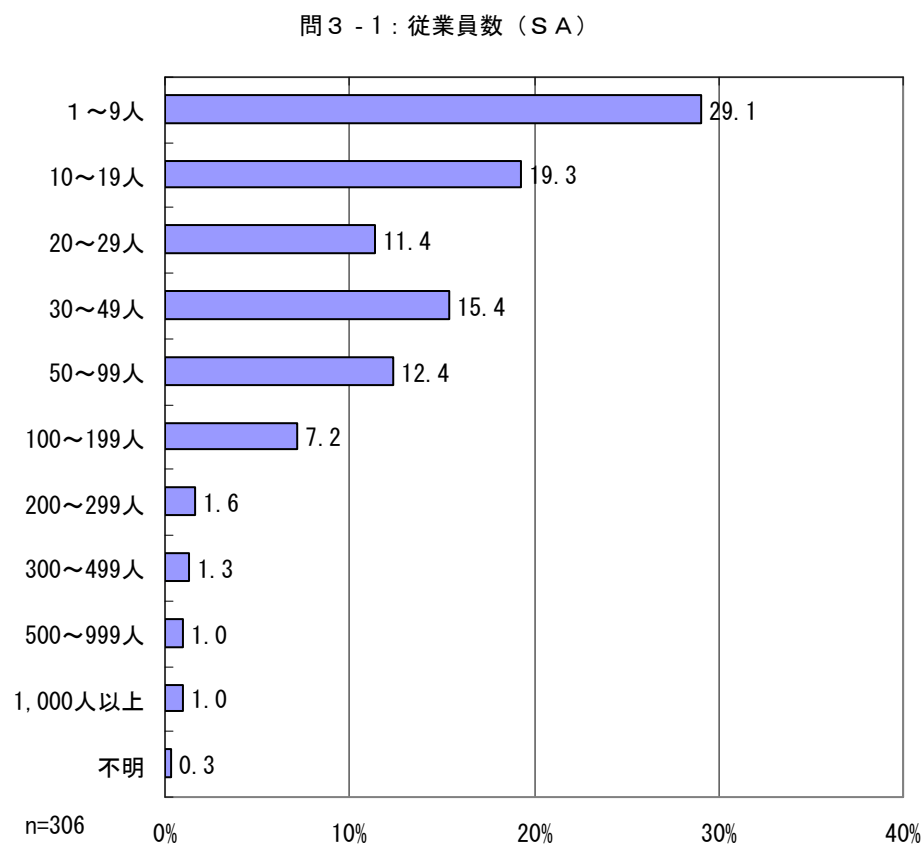
回答事業所の属する主な業種は、「その他の製造業」が最も多く19.9%、次いで「金属製品」が9.2%、「食料品」が7.5%となっている。

問2：主な業種（SA）



問3-1：従業員数（SA）

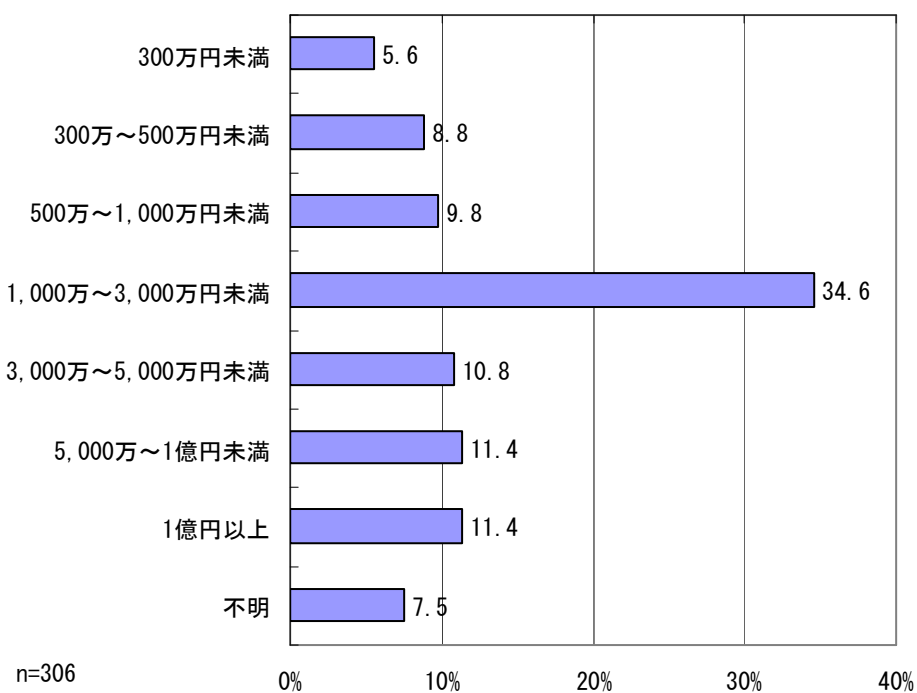
回答事業所の従業員数は、「1～9人」が最も多く29.1%、次いで「10～19人」が19.3%、「30～49人」が15.4%となっている。



問3-2：資本金（SA）

回答事業所の資本金は、「1,000万～3,000万円未満」が最も多く34.6%、次いで「5,000万～1億円未満」、「1億円以上」が、各11.4%となっている。

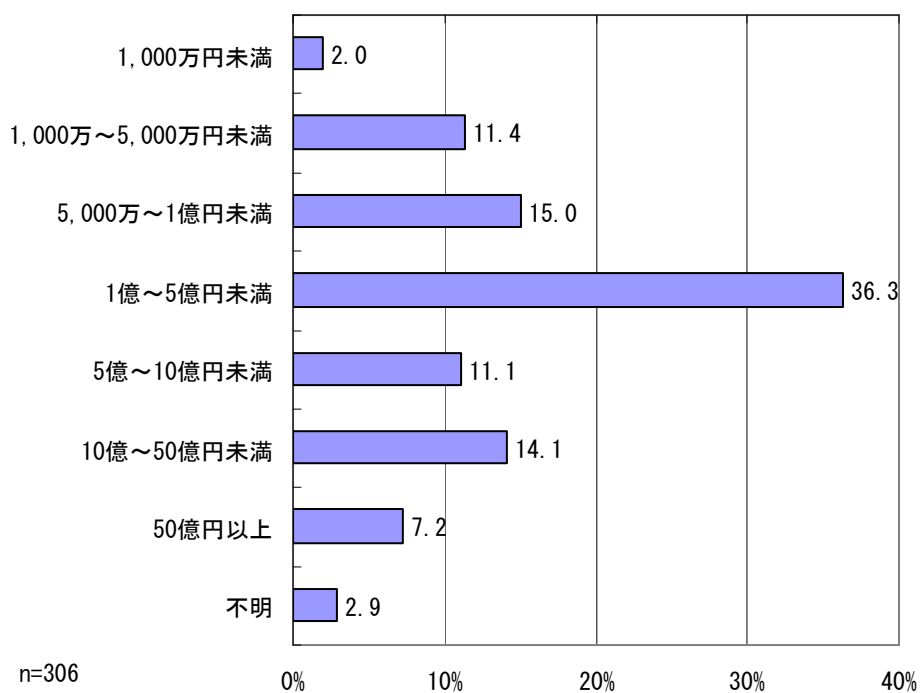
問3-2：資本金（SA）



問3-3：前年度の売上高（SA）

回答事業所の前年度の売上高は、「1億～5億円未満」が最も多く36.3%、次いで「5,000万～1億円未満」が15.0%、「10億～50億円未満」が14.1%となっている。

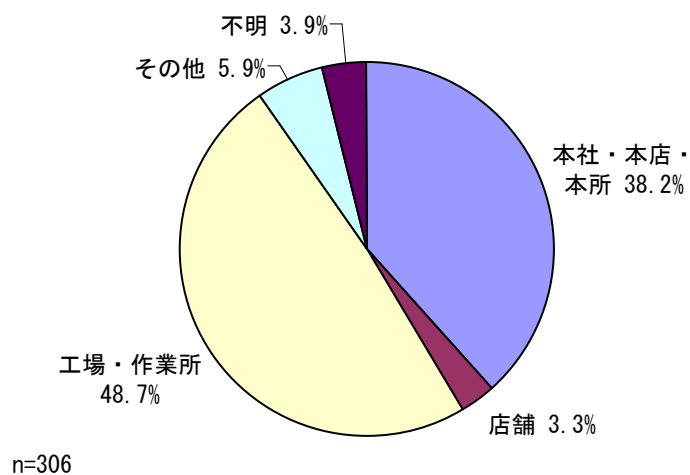
問3-3：前年度の売上高（SA）



問3-4：事業所の形態（SA）

回答事業所の形態は、「工場・作業所」が最も多く 48.7%、次いで「本社・本店・本所」が 38.2%となっている。

問3-4：事業所の形態（SA）



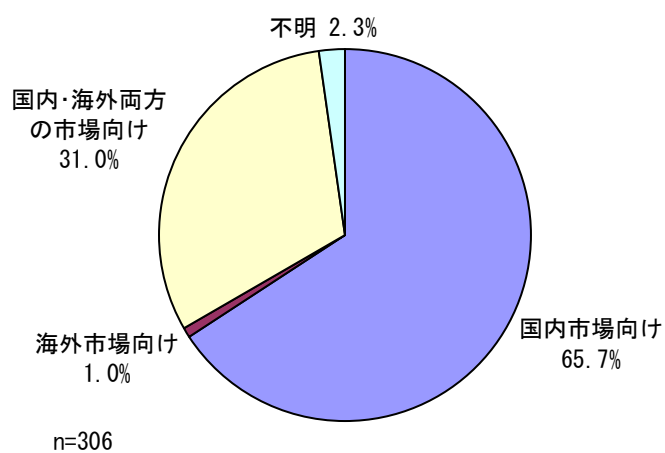
問3-4：その他	集計
支店	4
営業所	2
病院	2
住宅の2F	1
宿泊施設	1
食品衛生検査	1
分館	1
法人	1
本社・工場	1
総計	14

(2) 経営状況

問4-1：製品・サービス（SA）

回答事業所の取り扱い製品・サービスについて尋ねたところ、「国内市場向け」という回答が最も多く 65.7%、次いで「国内・海外両方の市場向け」が 31.0%、一方「海外市場向け」は 1%に留まっている。

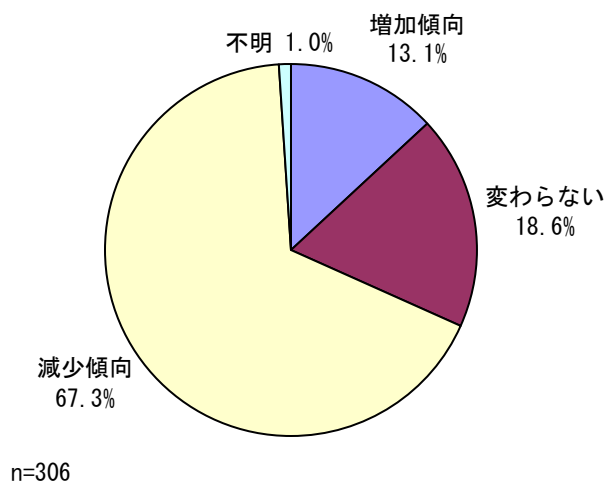
問4-1：製品・サービス（SA）



問4-2：直近3年における業績（売上高）の推移（SA）

回答事業所の直近3年における業績（売上高）の推移について尋ねたところ、「減少傾向」という回答が最も多く67.3%、一方「増加傾向」は13.1%に留まっている。

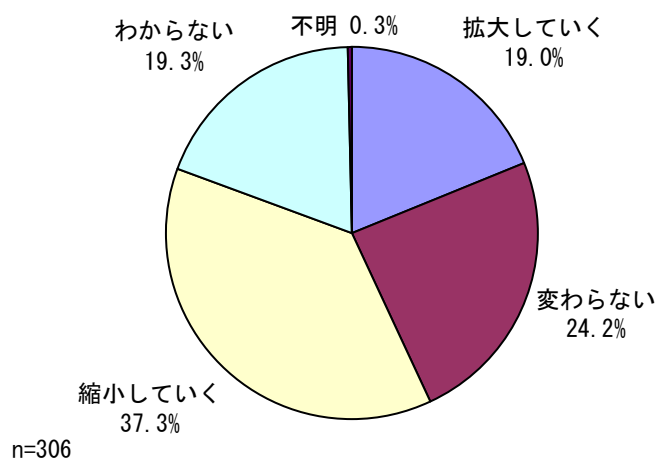
問4-2：直近3年における業績（売上高）の推移（SA）



問4-3：現在取り組んでいる事業分野における市場の将来展望（SA）

回答事業所が現在取り組んでいる事業分野における市場の将来展望を尋ねたところ、「縮小していく」という回答が最も多く 37.3%、次いで「変わらない」が 24.2%、「拡大していく」は 19.0%となっている。

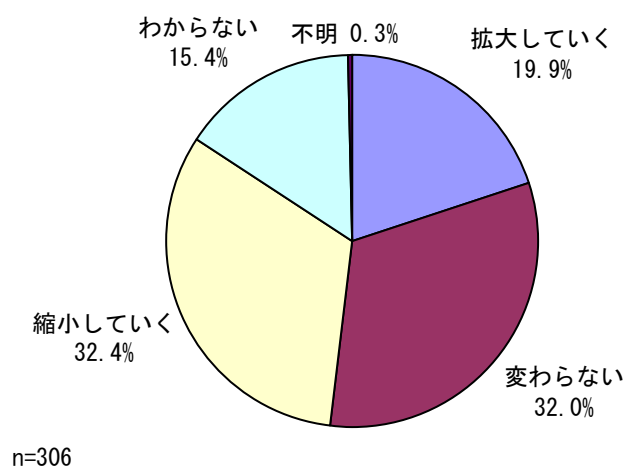
問4-3：現在取り組んでいる事業分野における市場の将来展望（SA）



問4-4：当該市場における貴事業所のシェアはどのように考えるか（SA）

当該市場における回答事業所の市場シェアの変化予測について尋ねたところ、「縮小していく」という回答が最も多く 32.4%、次いで「変わらない」が 32.0%、「拡大していく」は 19.9%となっている。

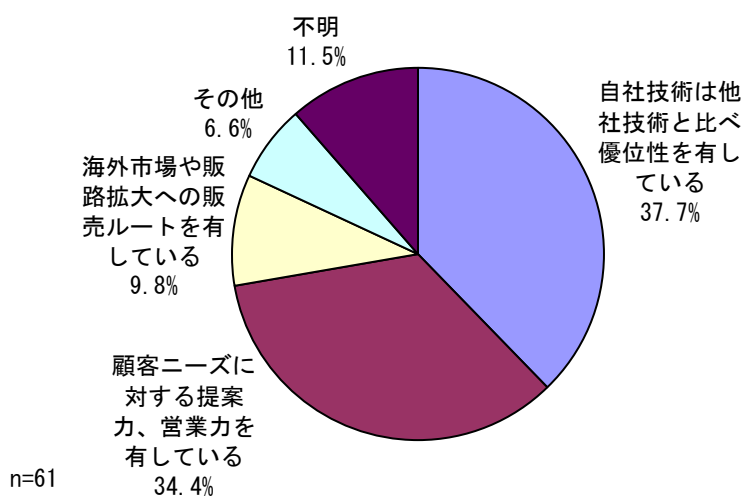
問4-4：当該市場における貴事業所のシェアは
どのように考えるか（SA）



問4-5：問4-4で拡大していくと考えた場合の理由（SA）

問4-4で拡大していくと考えた場合の理由について尋ねたところ、「自社技術は他社技術と比べ優位性を有している」という回答が最も多く 37.7%、次いで「顧客ニーズに対する提案、営業力を有している」が 34.4%となっている。

問4-5：問4-4で拡大していくと考えた場合の理由（SA）

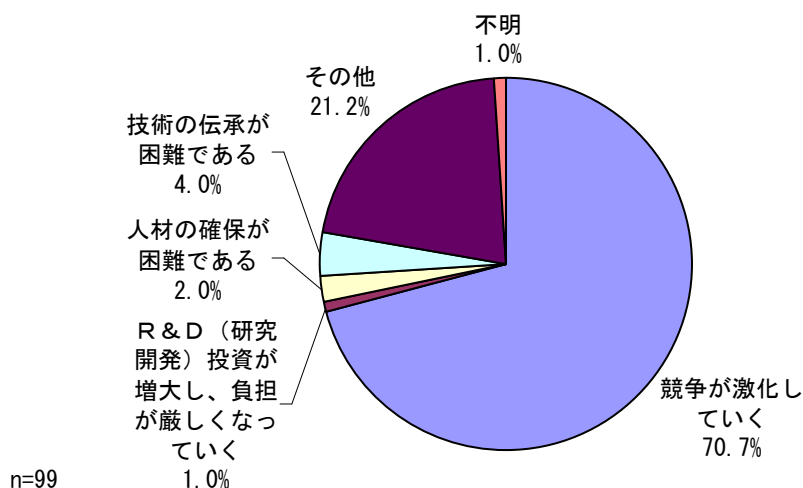


問4-5：その他
一部分、海外市場の販路が見えてきた
親会社の拡大に準ずる
地域だけでは仕事にならないため
低炭素社会の実現のため、電力化の推進が必要なため

問4-6：問4-4で縮小していくと考えた場合の理由（SA）

問4-4で縮小していくと考えた場合の理由について尋ねたところ、「競争が激化していく」という回答が最も多く70.7%、次いで「その他」が21.2%となっている。

問4-6：問4-4で縮小していくと考えた場合の理由（SA）

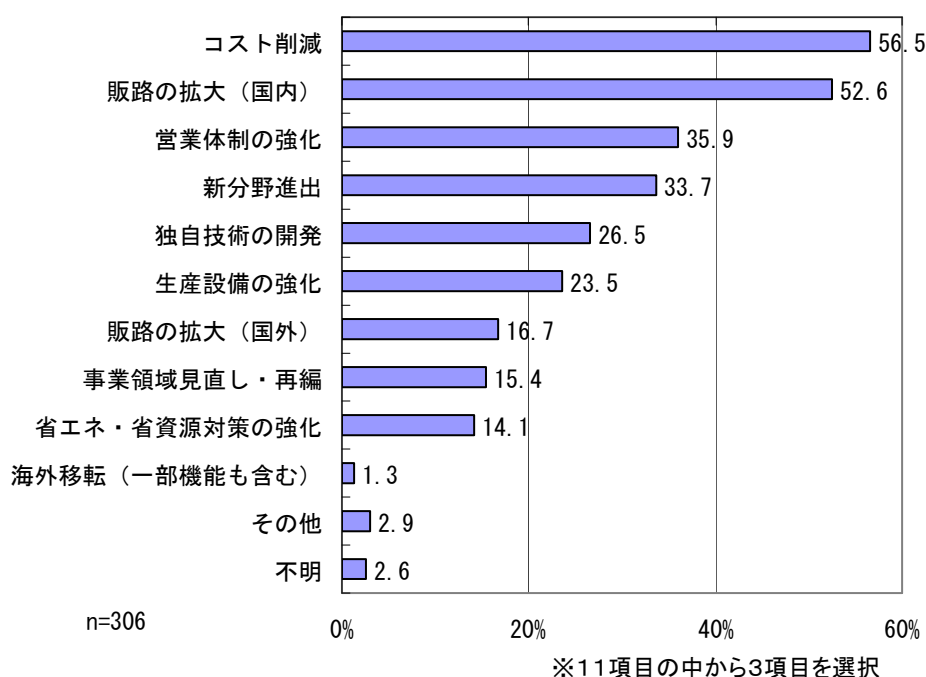


問4-6：その他
パソコン等の普及のため
メーカーからの受注及びコスト減により
印章離れ
海外への流出（仕事、技術）
海外拠点にシフトしていく為
海外現地調達が進むため
原材料の確保等が困難であり、コスト高い
国の政策
国外へ持っていかれる
材料・工法の変化
市場縮小
受注の減少
受注量の減少
需要がない
商品の安売り、商品販売の期間が年々短くなっている
消費の縮小
製造が減少
電算化、内政化、企業の減少等
得意先の減少
売上減少による金融負担の重圧

問5：問4－3の現在の事業分野における市場の将来展望を踏まえた上での今後の対応（MA）

問4－3の現在の事業分野における市場の将来展望を踏まえた上での回答事業所の今後の対応について尋ねたところ、「コスト削減」が最も多く56.5%、次いで「販路の拡大（国内）」が52.6%、「営業体制の強化」が35.9%となっている。

問5：問4－3の現在の事業分野における市場の将来展望を踏まえた上での今後の対応（MA）



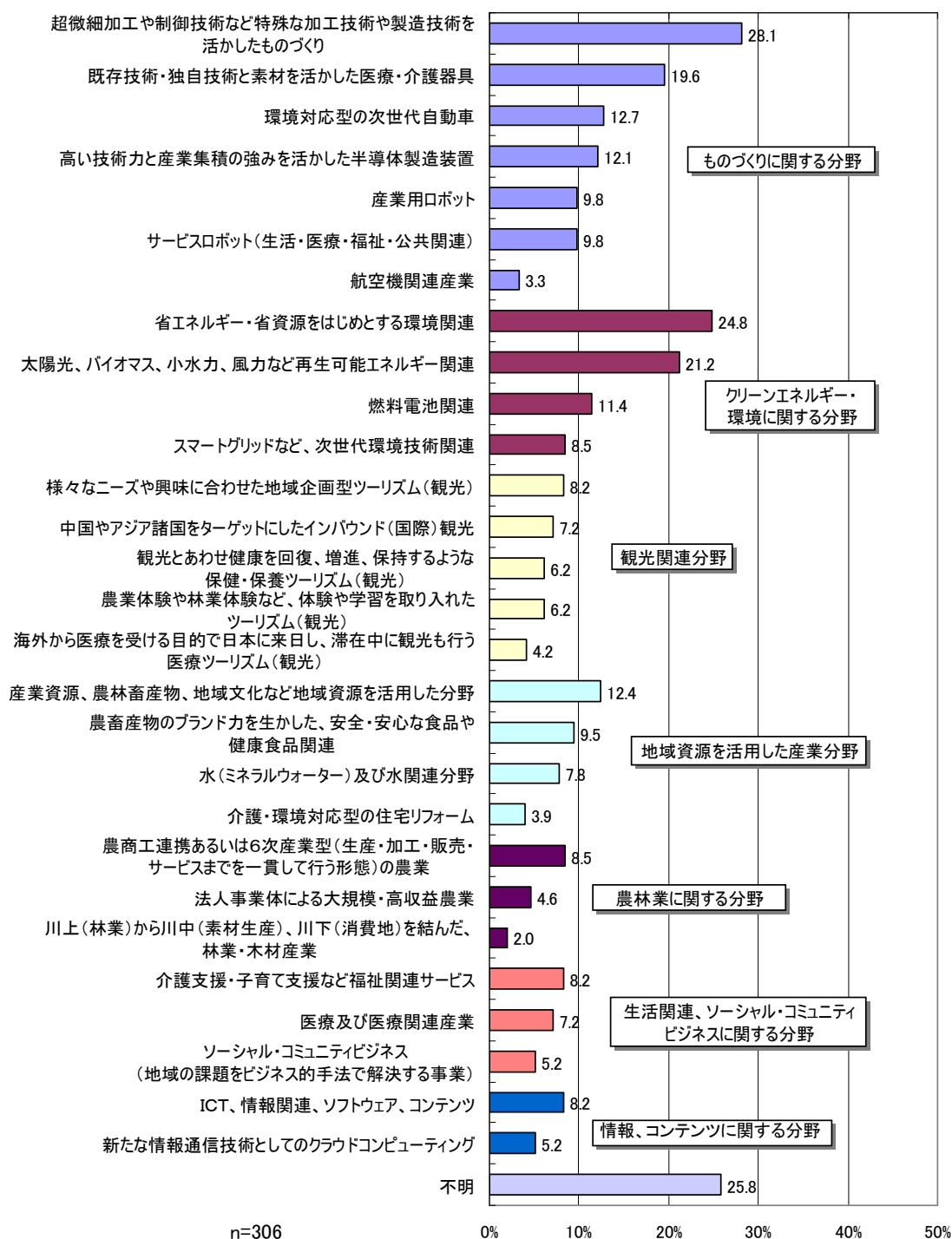
問5：その他
OEM 展開
海外グループ会社の活用
技工士が減少し、ここの仕事の量は拡大するのでは
製品内容の充実、人材育成
他事業所へ統合、計画的に閉鎖する
地域と観光とその連携
独自工程等の強化(小回りをきかせる)
物量減による事業縮小
法人改革後事業見直しも考えられる

(3) 現在考えている成長分野、新業務

問6-1：今後、貴事業所が取り組むべき成長分野（MA）

今後、回答事業所が取り組むべき成長分野について尋ねたところ、「超微細加工や制御技術など特殊な加工技術や製造技術を活かしたものづくり」という回答が最も多く28.1%、次いで「不明」が25.8%、「省エネルギー・省資源をはじめとする環境関連」が24.8%となっている。

問6-1：今後貴事業所が取り組むべき成長分野(MA)

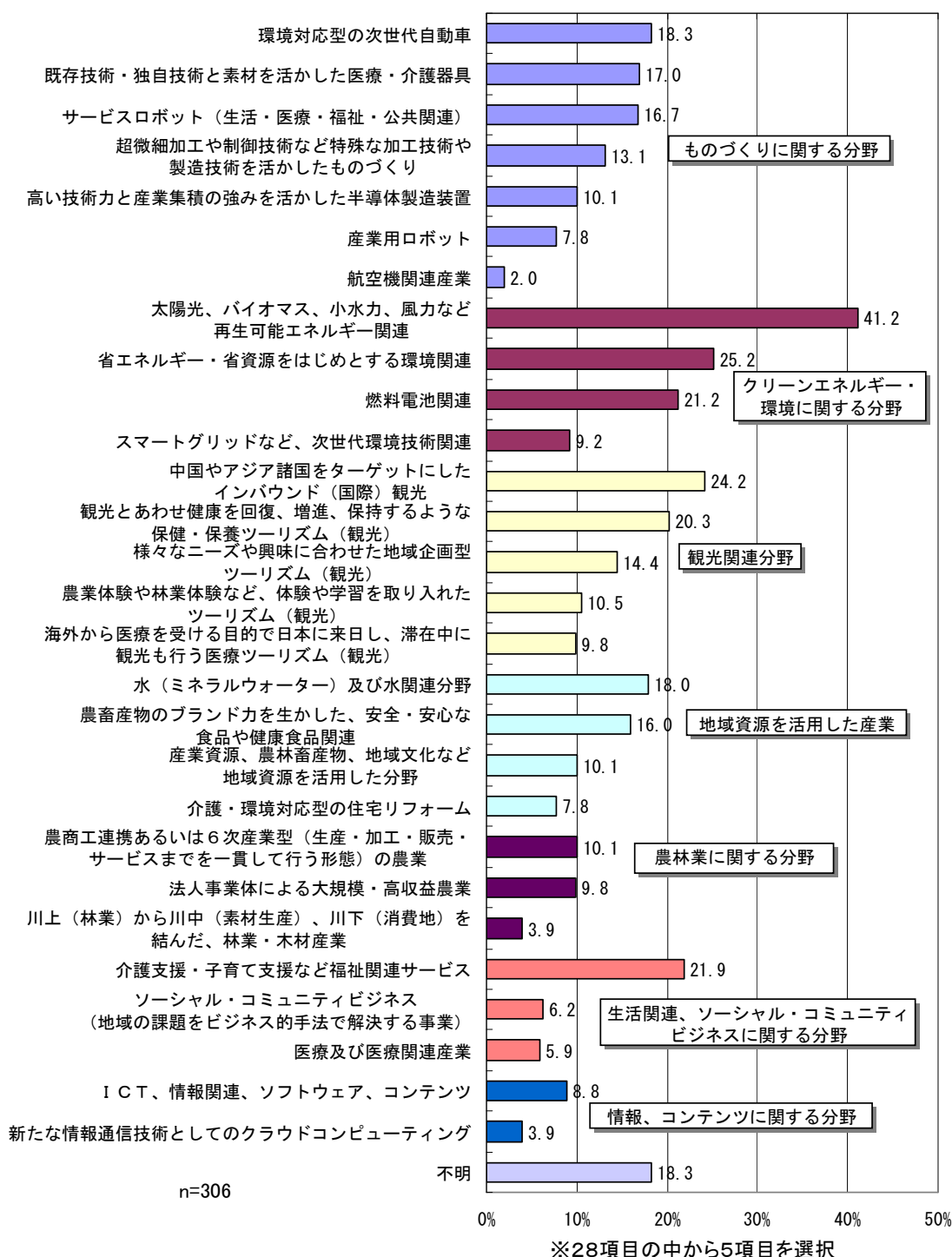


n=306

問6-2：一般論として、これから山梨県産業界が目指すべき成長分野（MA）

一般論として、これから山梨県産業界が目指すべき成長分野について尋ねたところ、「太陽光、バイオマス、小水力、風力など再生可能エネルギー関連」という回答が最も多く41.2%、次いで「省エネルギー・省資源をはじめとする環境関連」が25.2%、「中国やアジア諸国をターゲットにしたインバウンド（国際）観光」が24.2%となっている。

問6-2：一般論として、これから山梨県産業界が目指すべき成長分野（MA）



問 6-2 : 項目以外の成長分野
デザイン力
現在保有している人材で、他の分野に進出していくことは困難
現状のシェアアップを図り、国内オンリーワン企業としての基盤の確立を目標とする。中小企業はそんなに安易に他業種へ成長分野を求めても、資金、人材、技術等を確立できない。
工房が自社のポテンシャルを直接消費者に伝える、感じさせる形での直販店の構築
高齢者向け食材の開発、既存商品（主に食品）の再開発（安心、安全）
次世代バイオテクノロジー
日本の人口の 1/4 が住んでいる首都圏に近いので、観光はもちろんのこと子育てしやすい環境や学力を UP する策を考え定住してくれる人を増やす分野の整備を考えていくと良いと思う。
暮らしやすさを求めるならば、公務員の削減、あらゆる議員の削減による税金の削減が必要

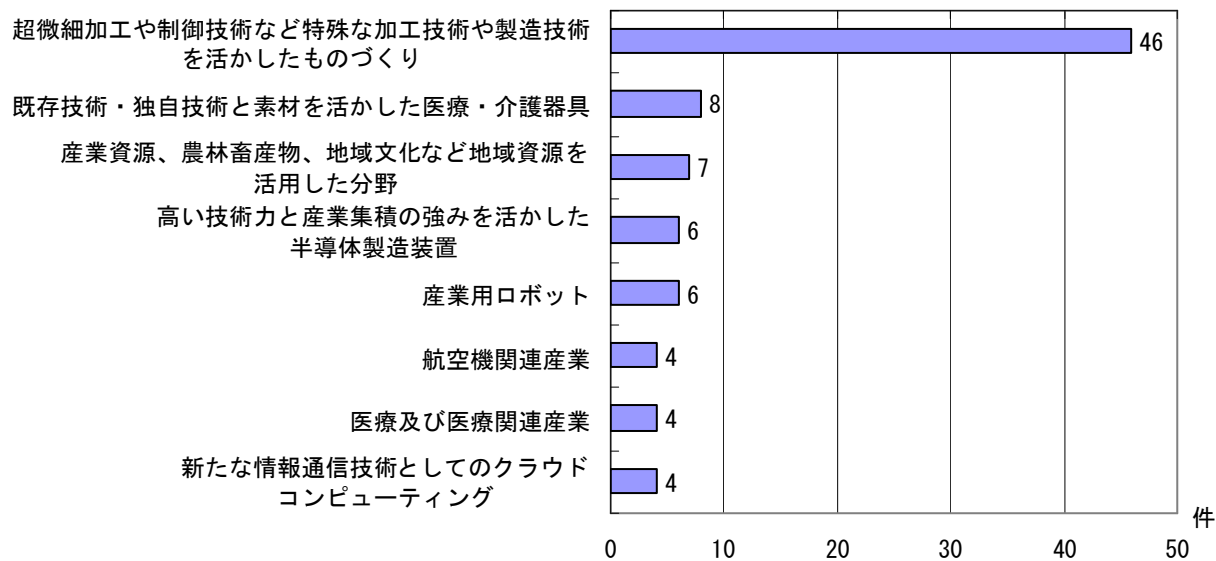
【参考】

「問 6-1 : 今後、貴事業所が取り組むべき成長分野」として選択された回答と、「問 6-2 : 一般論として、これから山梨県産業界が目指すべき成長分野」として選択された回答の件数を比較した結果が次ページ図である。（両設問の同一項目ごとに、回答数の多い方から回答数の少ない方を差し引いた結果を示した。）

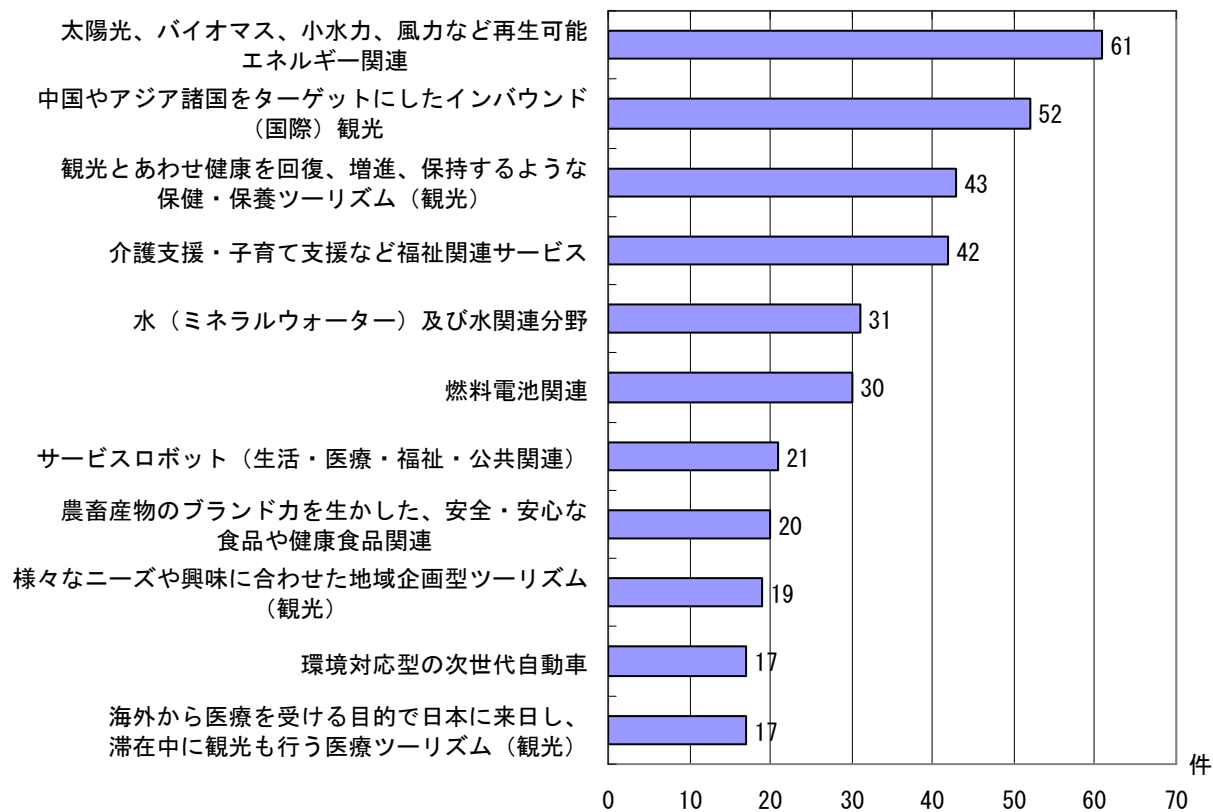
問 6-1 の回答のほうが大きい項目は、「超微細加工や制御技術など特殊な加工技術や製造技術を活かしたものづくり」の 46 件をはじめ、「ものづくりに関する分野」に関する項目が上位 8 項目中 5 項目と大半を占めている。

一方、問 6-2 の回答のほうが大きい項目は、「太陽光、バイオマス、小水力、風力など再生可能エネルギー関連」が 61 件と最も多く、次いで、「中国やアジア諸国をターゲットにしたインバウンド(国際)観光」が 52 件、「観光とあわせ健康を回復、増進、保持するような保健・保養ツーリズム(観光)」が 43 件、「介護支援・子育て支援など福祉関連サービス」が 42 件となっている。分野別に見ると、上位 11 項目中「観光関連分野」が 4 項目、「ものづくりに関する分野」、「クリーンエネルギー・環境に関する分野」、「地域資源を活かした産業分野」が各 2 項目と、回答が分散されている。

問6-1の回答のほうが大きい場合



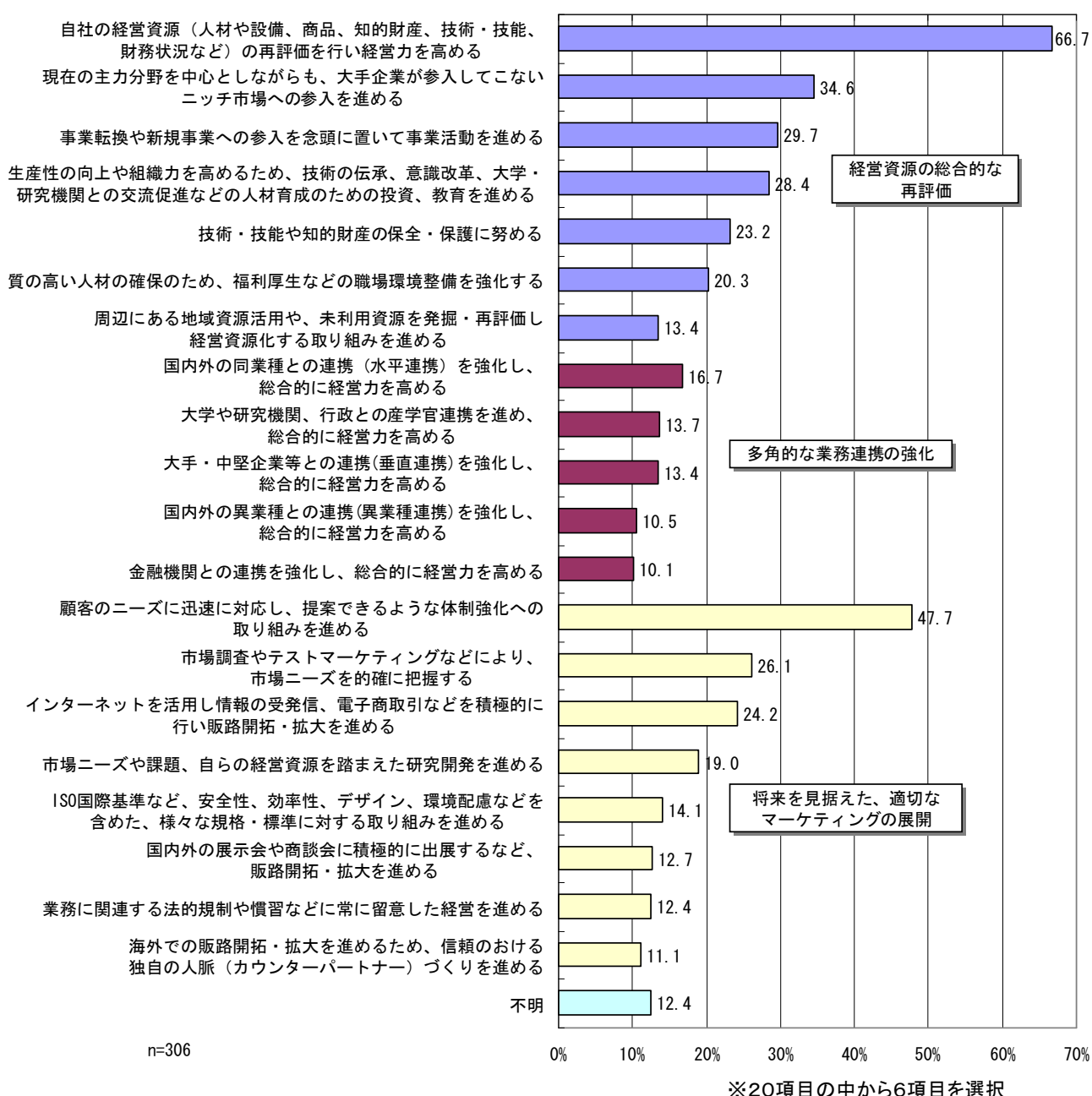
問6-2の回答のほうが大きい場合



問7-1：今後、成長が見込まれる分野に対して必要と考える貴事業所の取り組み（MA）

今後、成長が見込まれる分野に対して必要と考える回答事業所の取り組みについて尋ねたところ、「自社の経営資源（人材や設備、商品、知的財産、技術・技能、財務状況など）の再評価を行い経営力を高める」という回答が最も多く 66.7%、次いで「顧客のニーズに迅速に対応し、提案できるような体制強化への取り組みを進める」が 47.7%、「現在の主力分野を中心としながらも、大手企業が参入してこないニッチ市場への参入を進める」が 34.6%となっている。

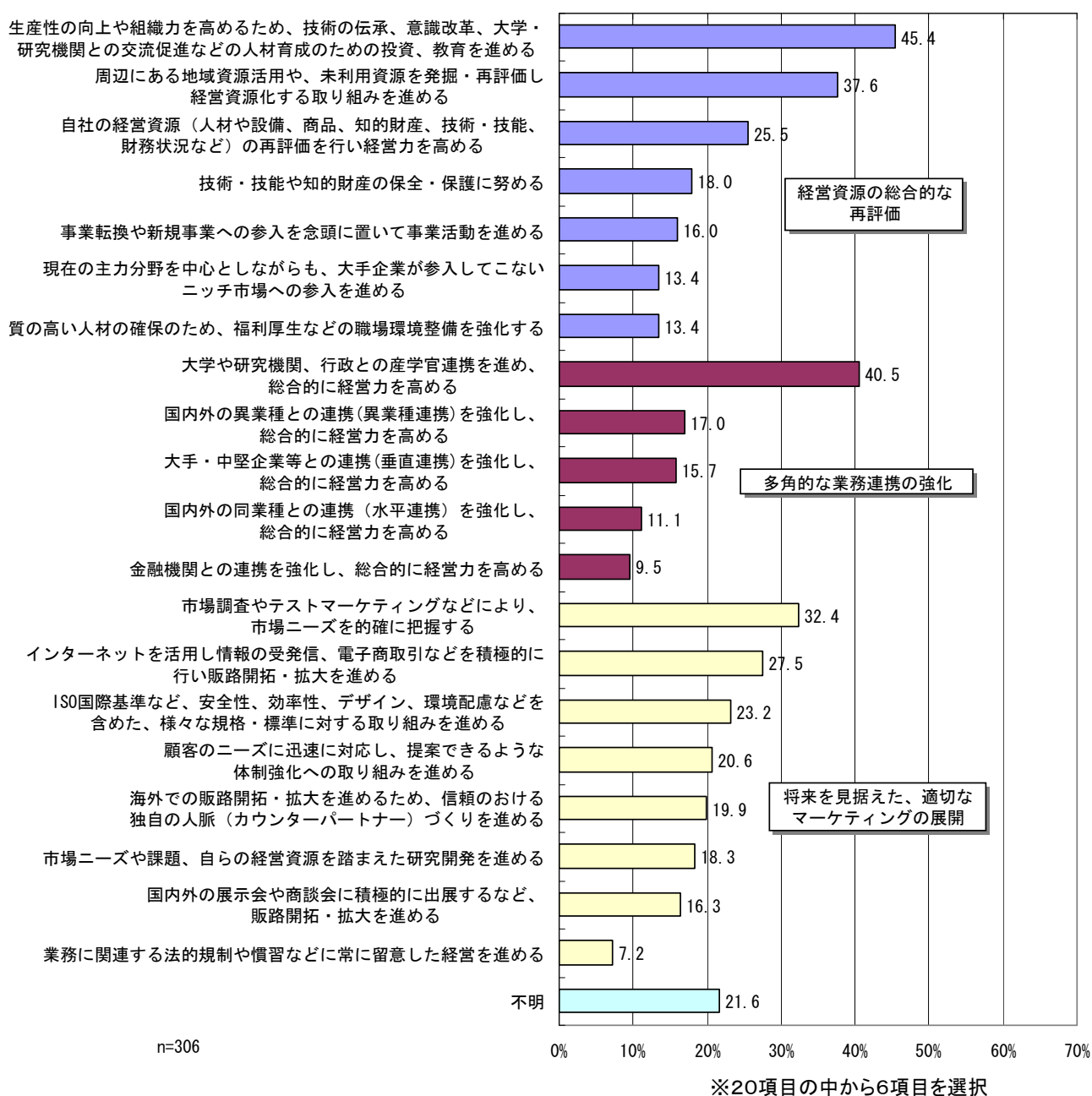
問7-1：今後、成長が見込まれる分野に対して必要と考える貴事業所の取り組み（MA）



問7-2：一般論として、これから山梨県産業界に必要とされる取り組み（MA）

一般論としてこれから山梨県産業界に必要とされる取り組みについて尋ねたところ、「生産性の向上や組織力を高めるため、技術の伝承、意識改革、大学・研究機関との交流促進などの人材育成のための投資、教育を進める」という回答が最も多く45.4%、次いで「大学や研究機関、行政との産学官連携を進め、総合的に経営力を高める」が40.5%、「周辺にある地域資源活用や、未利用資源を発掘・再評価し経営資源化する取り組みを進める」が37.6%となっている。

問7-2：一般論として、これから山梨県産業界に必要とされる取り組み（MA）



問 7-3 : 項目以外で必要と考える取り組み

ISO は疑問？

このようなマーケティングを実施するような事業規模ではありません

スピードある対応を重視

見た目にPR効果があるであろう、最近のワイン輸出や桃輸出、どれほどの山梨への経済効果があるのか。現状の工業分野は他の業種とくらべて地味ではあるが山梨県にとっては経済的に重要な又金額的にももっと考えなくてはと思う。物作りは全ての基本だと考えている。東京エレクトロンの大企業のみでなく、県内の中小零細企業を守らないと……

顧客満足度の追求&追究

紙（和紙）と従来にない新素材（例えばプラスチック関係）との結合による新しい紙製品の開発（現在開発中）

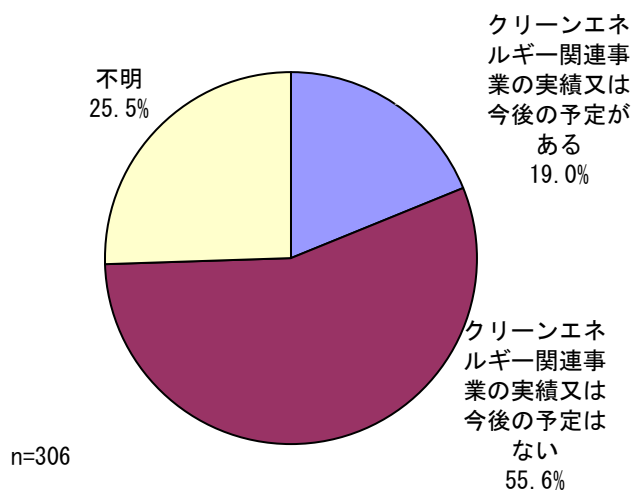
卵にブドウ粕を食べた鶏よりポリフェノール卵を作り、健康に良い料理を作る

(4) クリーンエネルギー関連事業への取り組み

問8：貴事業所の事業活動において、クリーンエネルギー関連事業の実績または今後の予定はあるか（S A）

回答事業所の事業活動において、クリーンエネルギー関連事業の実績または今後の予定はあるかについて尋ねたところ、「クリーンエネルギー関連事業の実績又は今後の予定はない」という回答が過半数を占め 55.6%、次いで「不明」が 25.5%、「クリーンエネルギー関連事業の実績又は今後の予定がある」が 19.0%となっている。

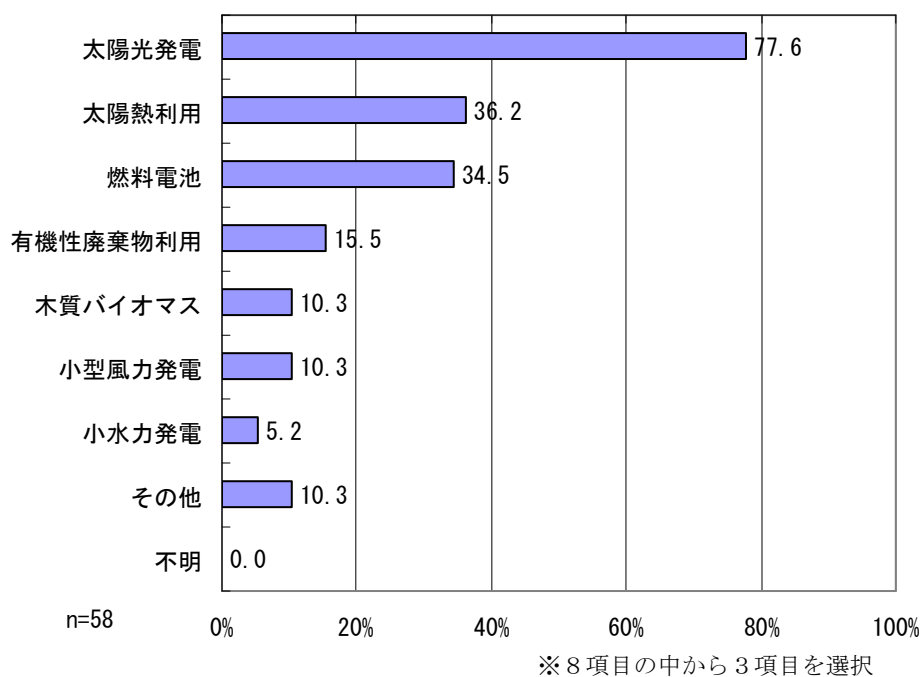
問8：貴事業所の事業活動において、クリーンエネルギー関連事業の実績または今後の予定はあるか（S A）



問9：貴事業所が実施又は予定しているクリーンエネルギー関連事業はどの種類か(MA)

回答事業所が実施又は予定しているクリーンエネルギー関連事業の種類について尋ねたところ、「太陽光発電」という回答が最も多く77.6%、次いで「太陽熱利用」が36.2%、「燃料電池」が34.5%となっている。

問9：貴事業所が実施又は予定しているクリーンエネルギー関連事業はどの種類か(MA)



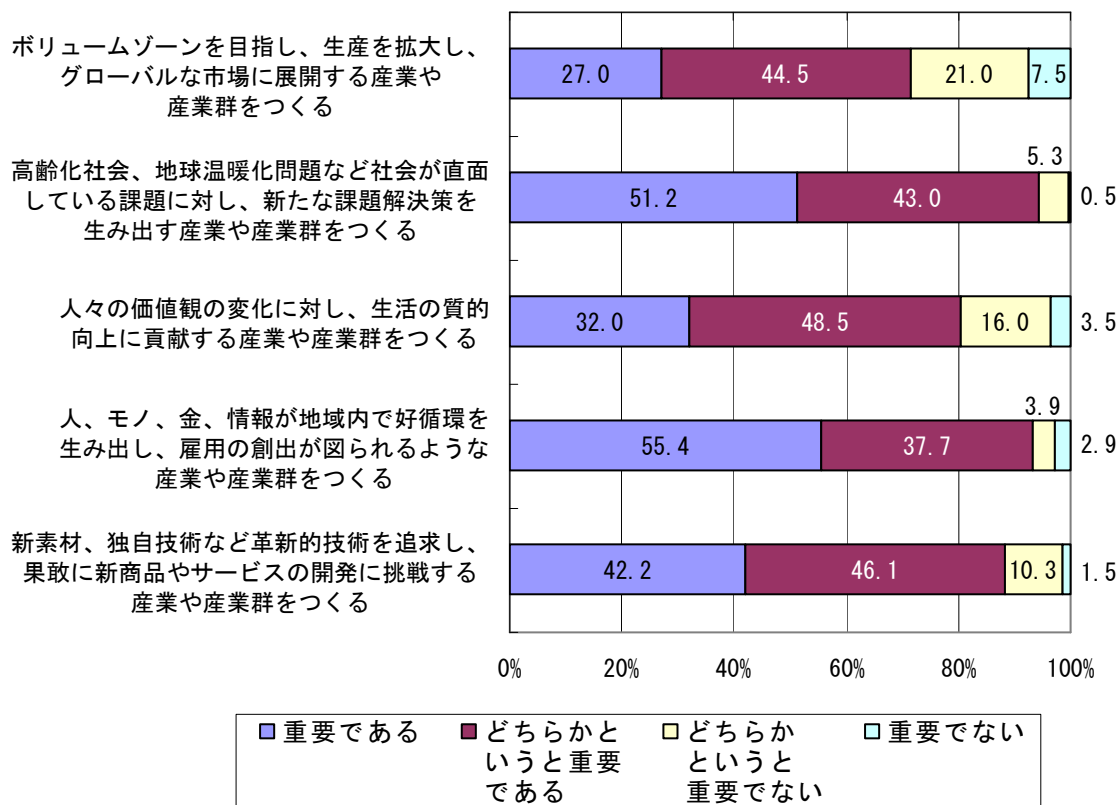
問9：その他
バッテリー
開発支援を通じて
既存の水力発電
高効率技術
地中熱・ヒートポンプ
蓄電池

問 12：今後、山梨県の産業社会の望ましい姿についてどのように考えるか（SA）

今後、山梨県の産業社会の望ましい姿について尋ねたところ、重要度（「重要度」＝「重要である」＋「どちらかというと重要である」とする。）が最も高い項目は、「高齢化社会、地球温暖化問題など社会が直面している課題に対し、新たな課題解決策を生み出す産業や産業群をつくる」、次いで「人、モノ、金、情報が地域内で好循環を生み出し、雇用の創出が図られるような産業や産業群をつくる」となっている。

一方で重要度が低い項目は、「ボリュームゾーンを目指し、生産を拡大し、グローバルな市場に展開する産業や産業群をつくる」となっている。

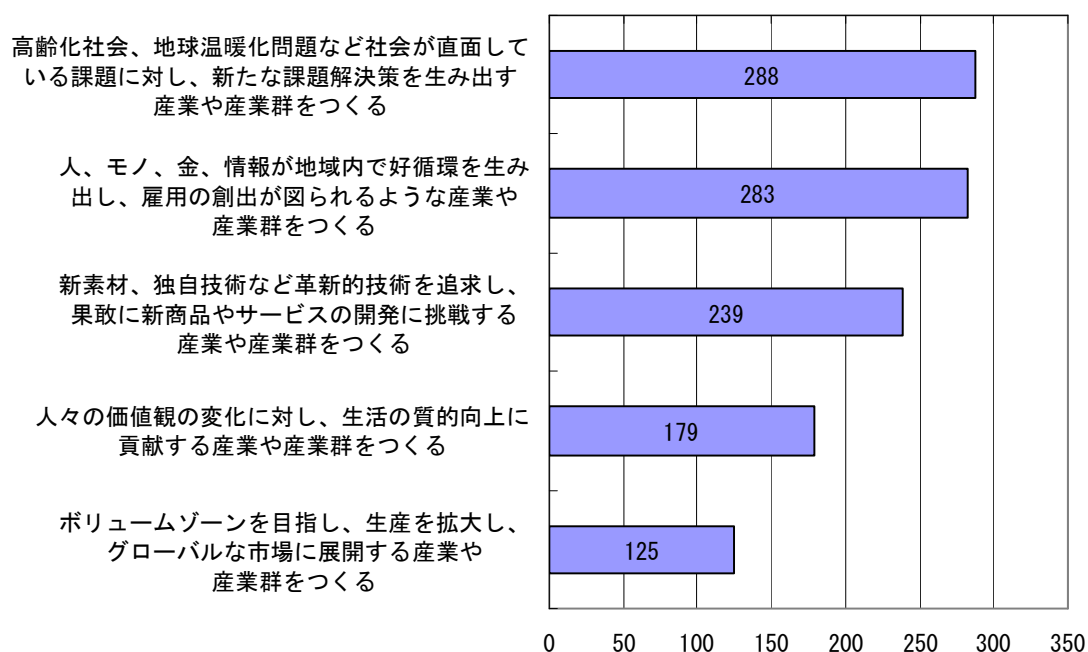
問 1 2：山梨県の産業社会の望ましい姿（SA）



【参考】

問12の回答について、下記の通り重要度に応じた点数化を行うと下図のようになる。山梨県の産業社会の望ましい姿については、「高齢化社会、地球温暖化問題など社会が直面している課題に対し、新たな課題解決策を生み出す産業や産業群をつくる」、「人、モノ、金、情報が地域内で好循環を生み出し、雇用の創出が図られるような産業や産業群をつくる」という項目の重要度が高く、一方で「ボリュームゾーンを目指し、生産を拡大し、グローバルな市場に展開する産業や産業群をつくる」という項目の重要度が低いという結果が顕著に現れている。

問12：山梨県の産業社会の望ましい姿（SA）【重要度】



※ 回答件数を下記の点数で換算し、その合計により重要度を割り出した。

重要である：2点

どちらかという重要である：1点

どちらかという重要でない：-1点

重要でない：-2点

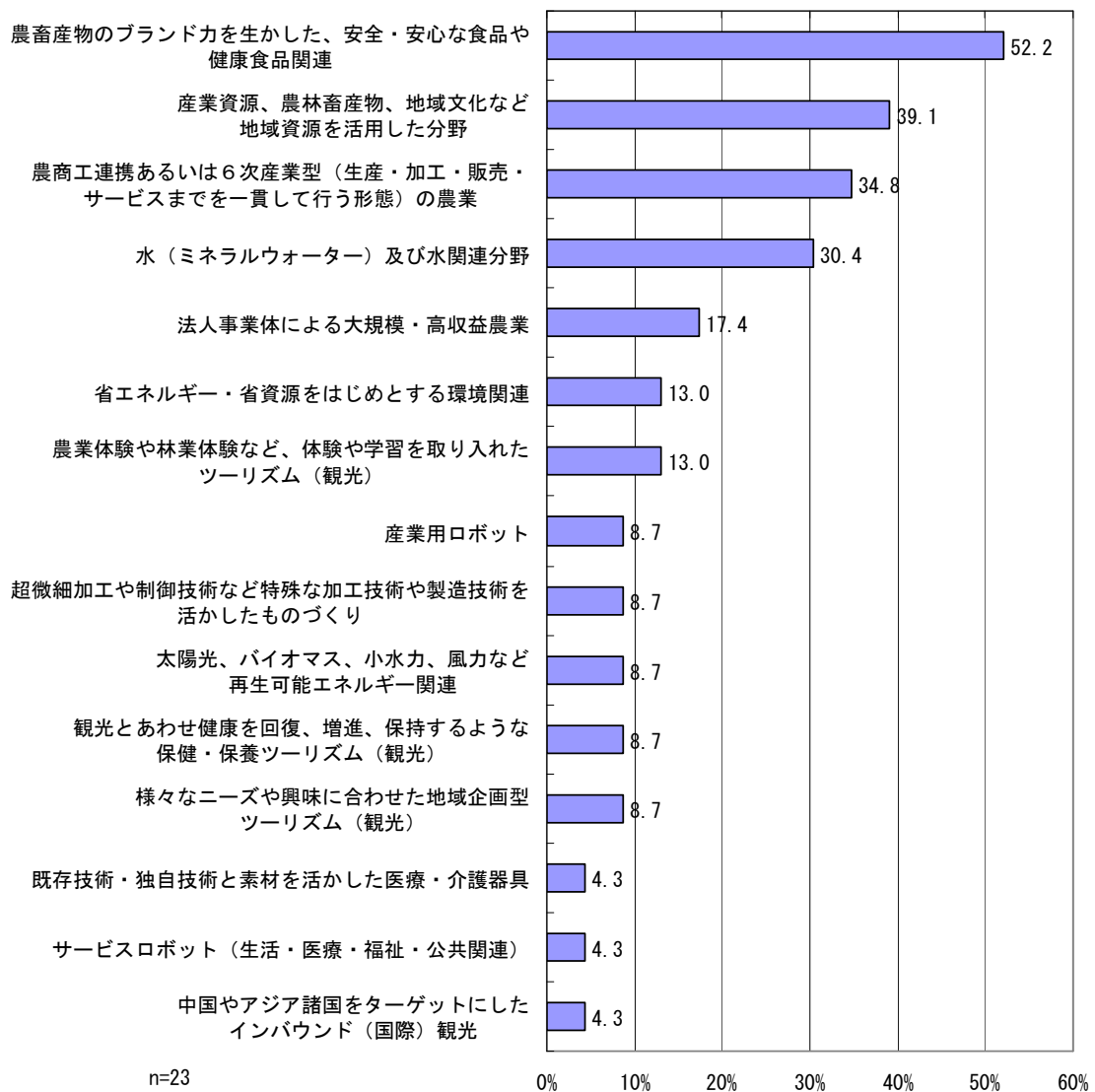
3. 調査分析（クロス集計分析）

（1）設問別クロス／問2：業種

【食料品】問2：業種×問6-1：今後貴事業所が取り組むべき成長分野（MA）

今後、回答事業所が取り組むべき成長分野として考えている分野を業種別に見ると、食料品では、「農畜産物のブランド力を生かした、安全・安心な食品や健康食品関連」という回答が最も多く 52.2%、次いで「産業資源、農林畜産物、地域文化など地域資源を活用した分野」が 39.1%、「農商工連携あるいは6次産業型（生産・加工・販売・サービスまでを一貫して行う形態）の農業」が 34.8%となっている。

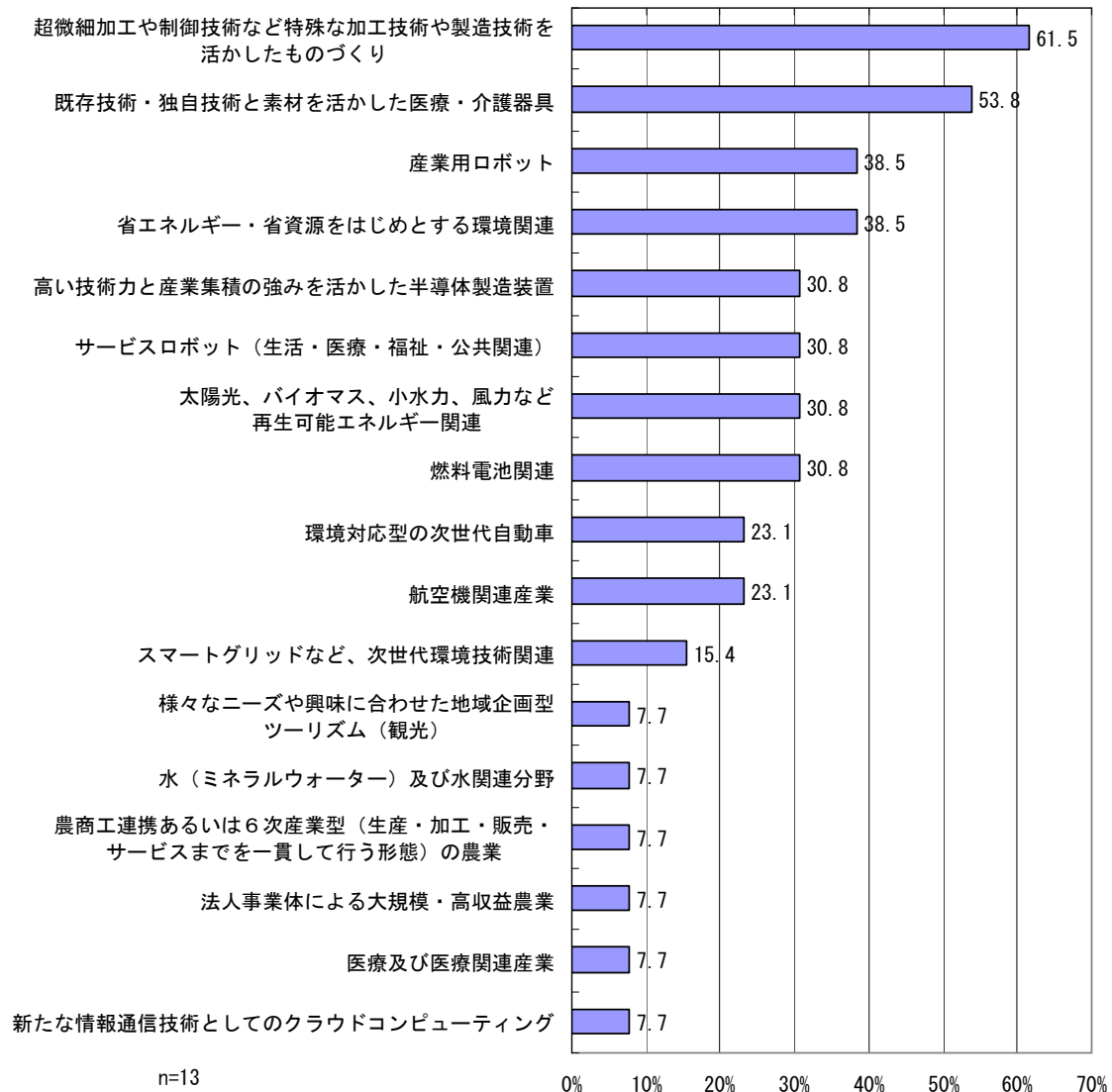
【食料品】問2：業種×問6-1：今後貴事業者が取り組むべき成長分野（MA）



【生産用機械器具】問2：業種×問6-1：今後貴業者が取り組むべき成長分野（MA）

生産用機械器具では、「超微細加工や制御技術など特殊な加工技術や製造技術を活かしたものづくり」という回答が最も多く 61.5%、次いで「既存技術・独自技術と素材を活かした医療・介護器具」が 53.8%、「産業用ロボット」、「省エネルギー・省資源をはじめとする環境関連」が各 38.5%となっている。

【生産用機械器具】問2：業種×問6-1：今後貴事業者が取り組むべき成長分野（MA）

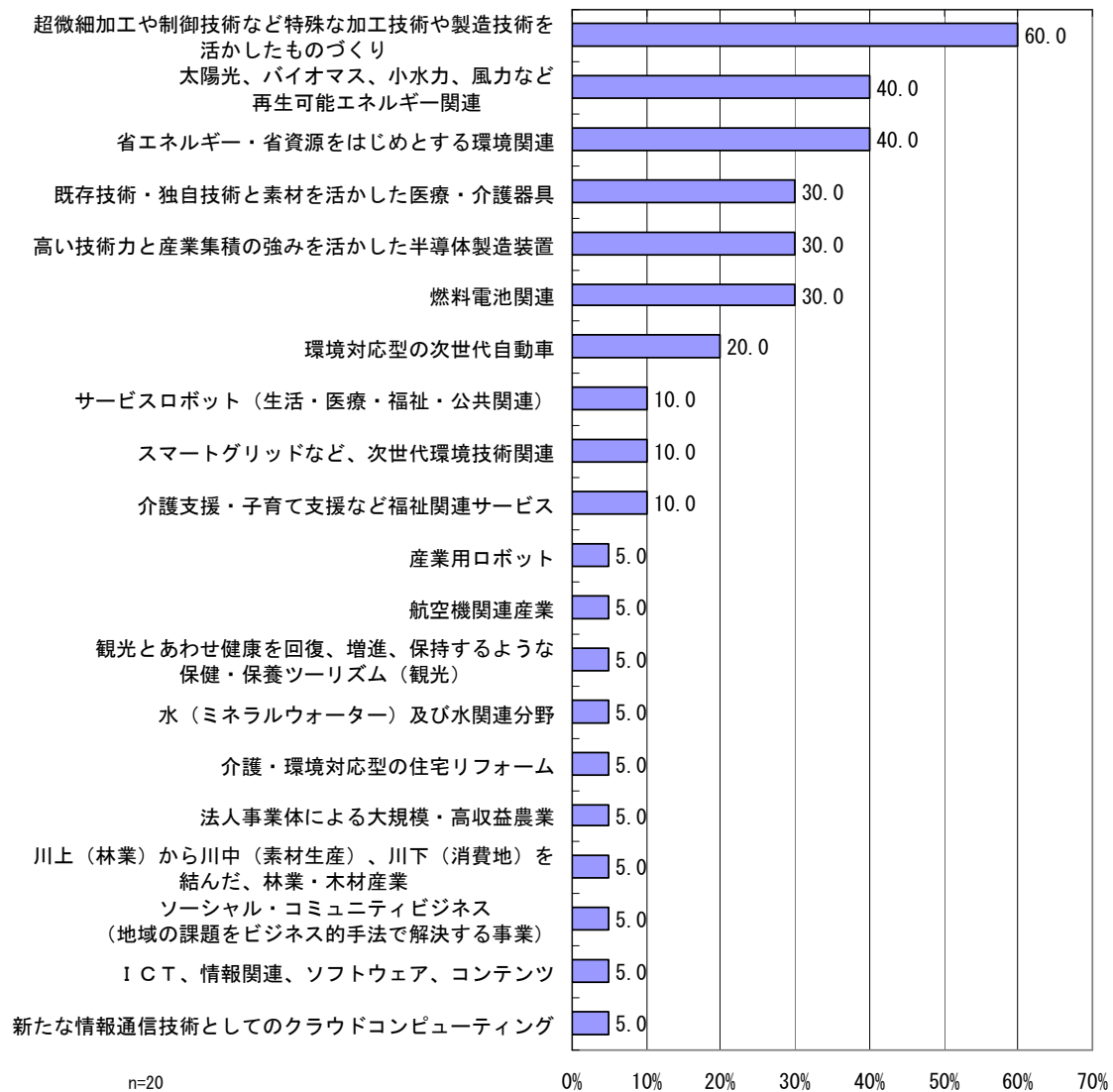


【電子部品・デバイス・電子回路】問2：業種×問6-1：今後貴業者が取り組むべき

成長分野（MA）

電子部品・デバイス・電子回路では、「超微細加工や制御技術など特殊な加工技術や製造技術を活かしたものづくり」という回答が最も多く60.0%、次いで「太陽光、バイオマス、小水力、風力など再生可能エネルギー関連」、「省エネルギー・省資源をはじめとする環境関連」が各40.0%となっている。

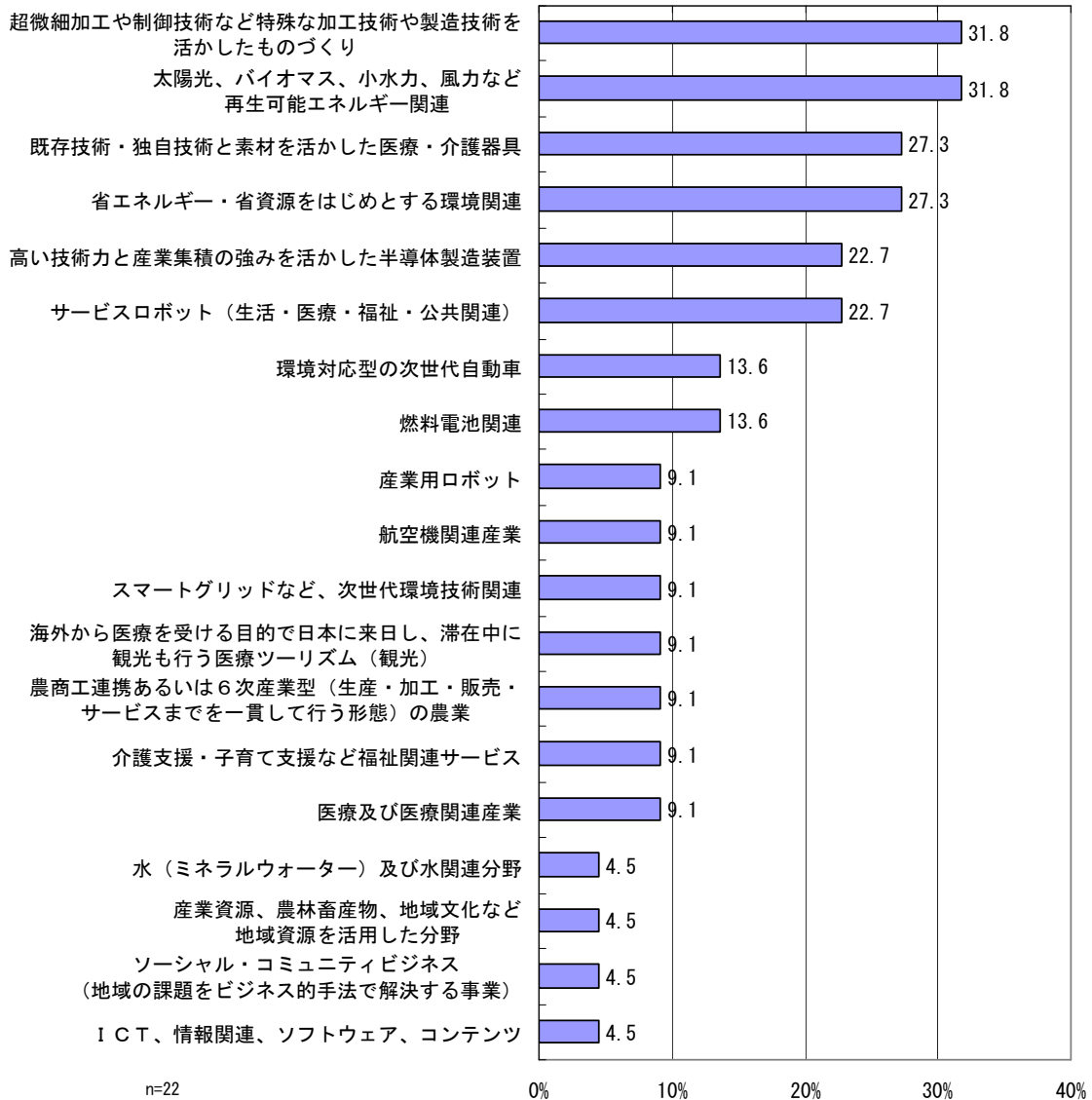
【電子部品・デバイス・電子回路】
問2：業種×問6-1：今後貴事業者が取り組むべき成長分野（MA）



【電気機械器具】問2：業種×問6-1：今後貴業者が取り組むべき成長分野（MA）

電子機械器具では、「超微細加工や制御技術など特殊な加工技術や製造技術を活かしたもののづくり」、「太陽光、バイオマス、小水力、風力など再生可能エネルギー関連」という回答が最も多く各31.8%、次いで「既存技術・独自技術と素材を活かした医療・介護器具」、「省エネルギー・省資源をはじめとする環境関連」が各27.3%となっている。

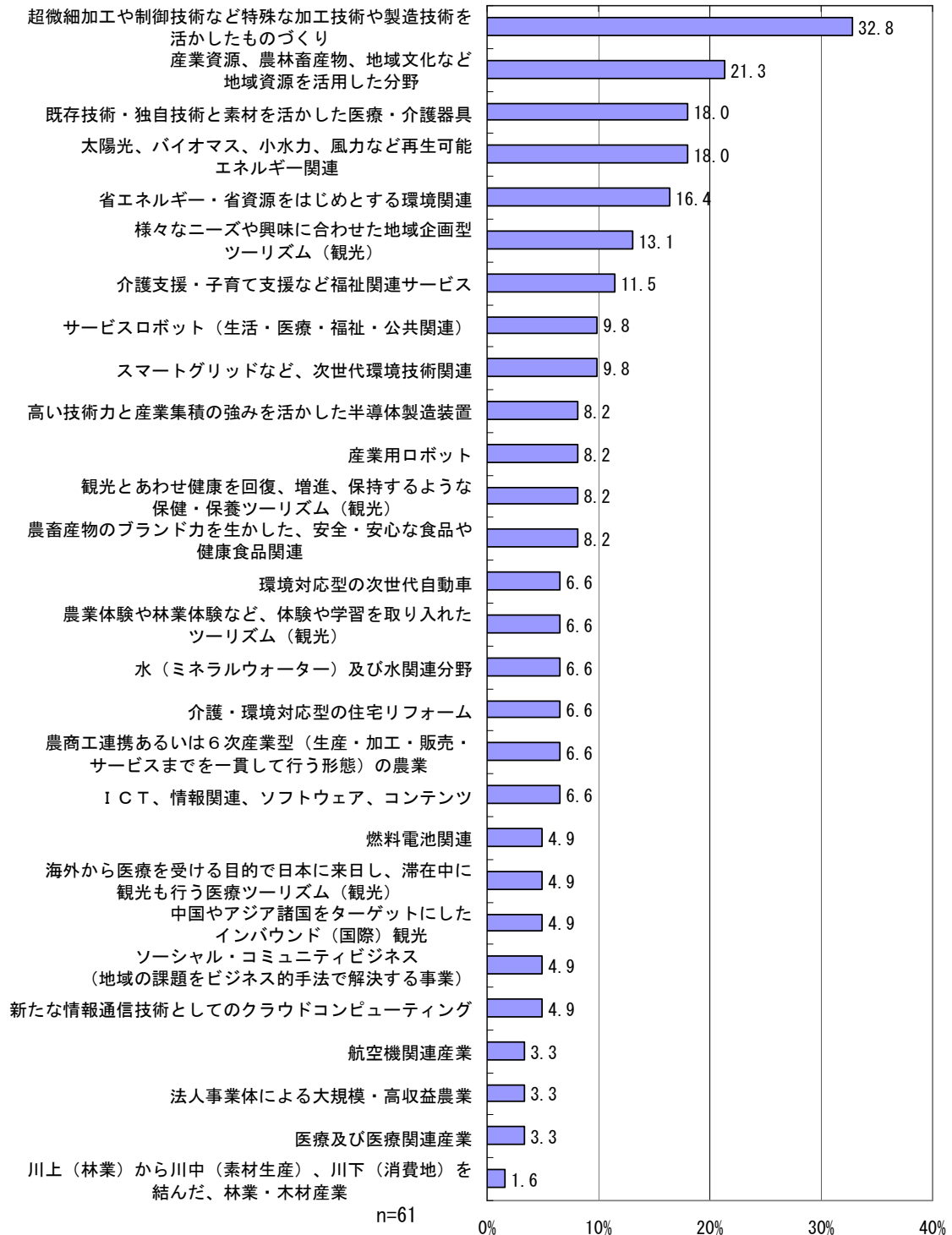
【電気機械器具】問2：業種×問6-1：今後貴事業者が取り組むべき成長分野（MA）



【その他の製造業】問2：業種×問6－1：今後貴業者が取り組むべき成長分野（MA）

その他の製造業では、「超微細加工や制御技術など特殊な加工技術や製造技術を活かしたものづくり」という回答が最も多く 32.8%、次いで「産業資源、農林畜産物、地域文化など地域資源を活用した分野」が 21.3%、「既存技術・独自技術と素材を活かした医療・介護器具」、「太陽光、バイオマス、小水力、風力など再生可能エネルギー関連」が各 18.0% となっている。

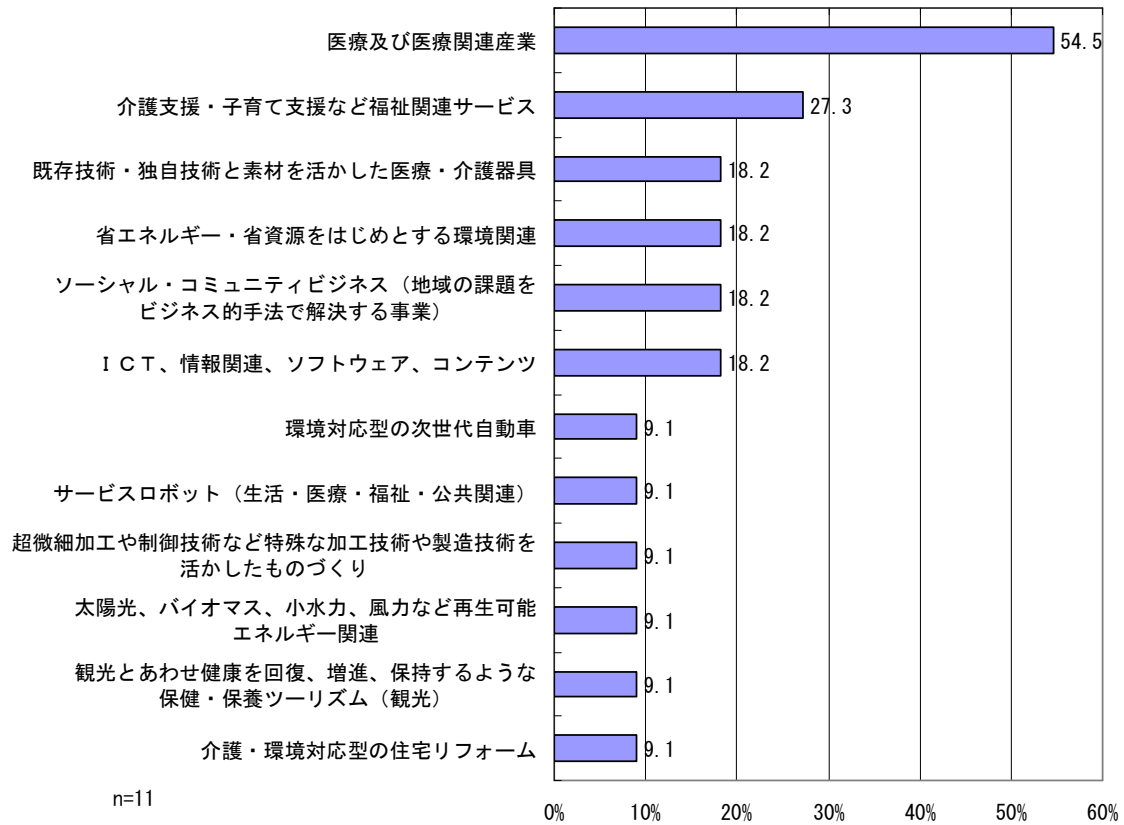
【その他の製造業】問2：業種×問6－1：今後貴事業者が取り組むべき成長分野（MA）



【医療業】問2：業種×問6-1：今後貴業者が取り組むべき成長分野（MA）

医療業では、「医療及び医療関連産業」という回答が最も多く 54.5%、次いで「介護支援・子育て支援など福祉関連サービス」が 27.3%となっている。

【医療業】問2：業種×問6-1：今後貴事業者が取り組むべき成長分野（MA）

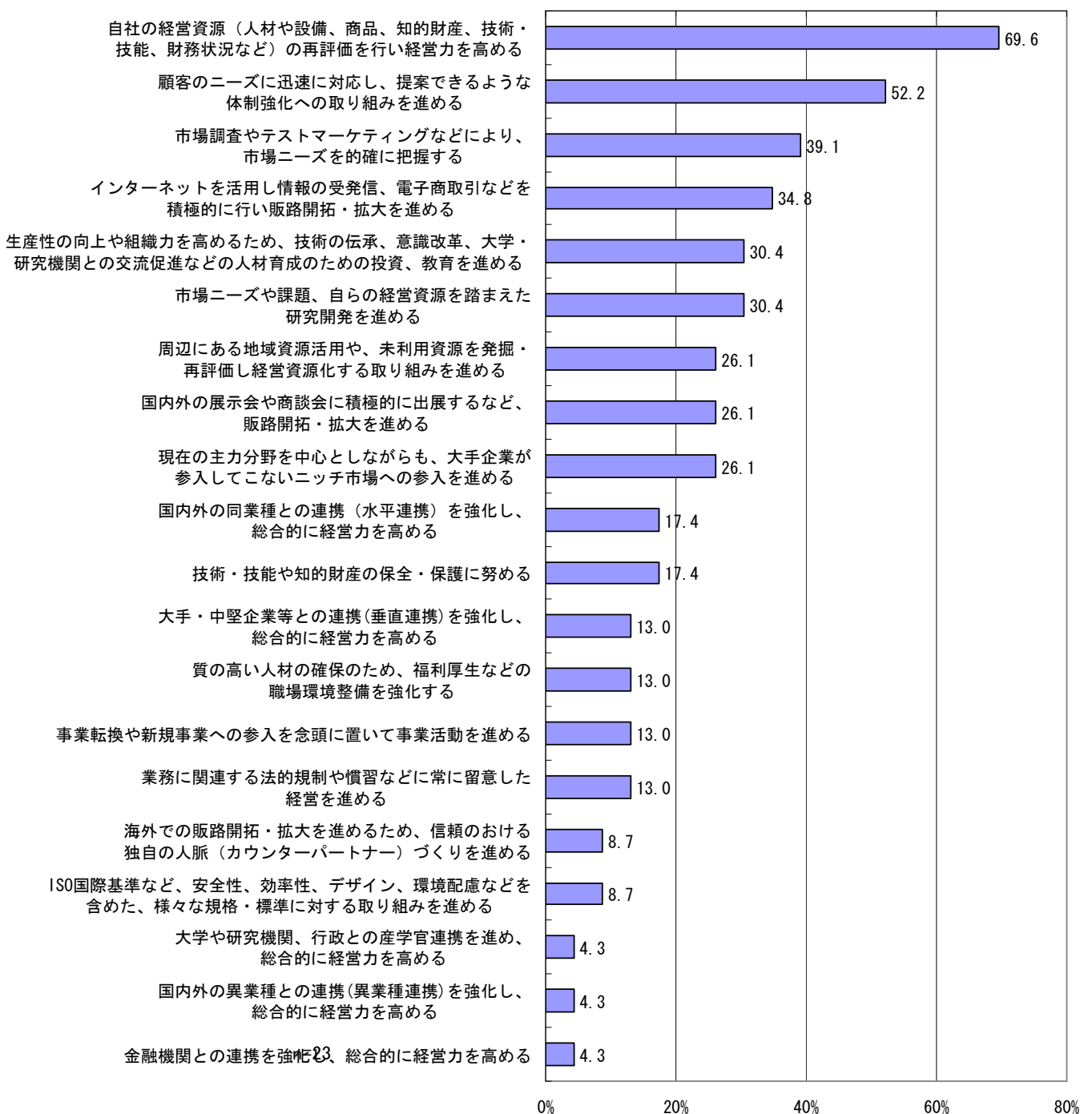


【食料品】問2：業種×問7-1：今後、成長が見込まれる分野に対して必要と考える

貴事業所の取り組み（MA）

今後、回答事業所が成長分野に対して必要と考える取り組みについて、業種別に見ると、食料品では、「自社の経営資源（人材や設備、商品、知的財産、技術・技能、財務状況など）の再評価を行い経営力を高める」という回答が最も多く 69.6%、次いで「顧客のニーズに迅速に対応し、提案できるような体制強化への取り組みを進める」が 52.2%、「市場調査やテストマーケティングなどにより、市場ニーズを的確に把握する」が 39.1%となっている。

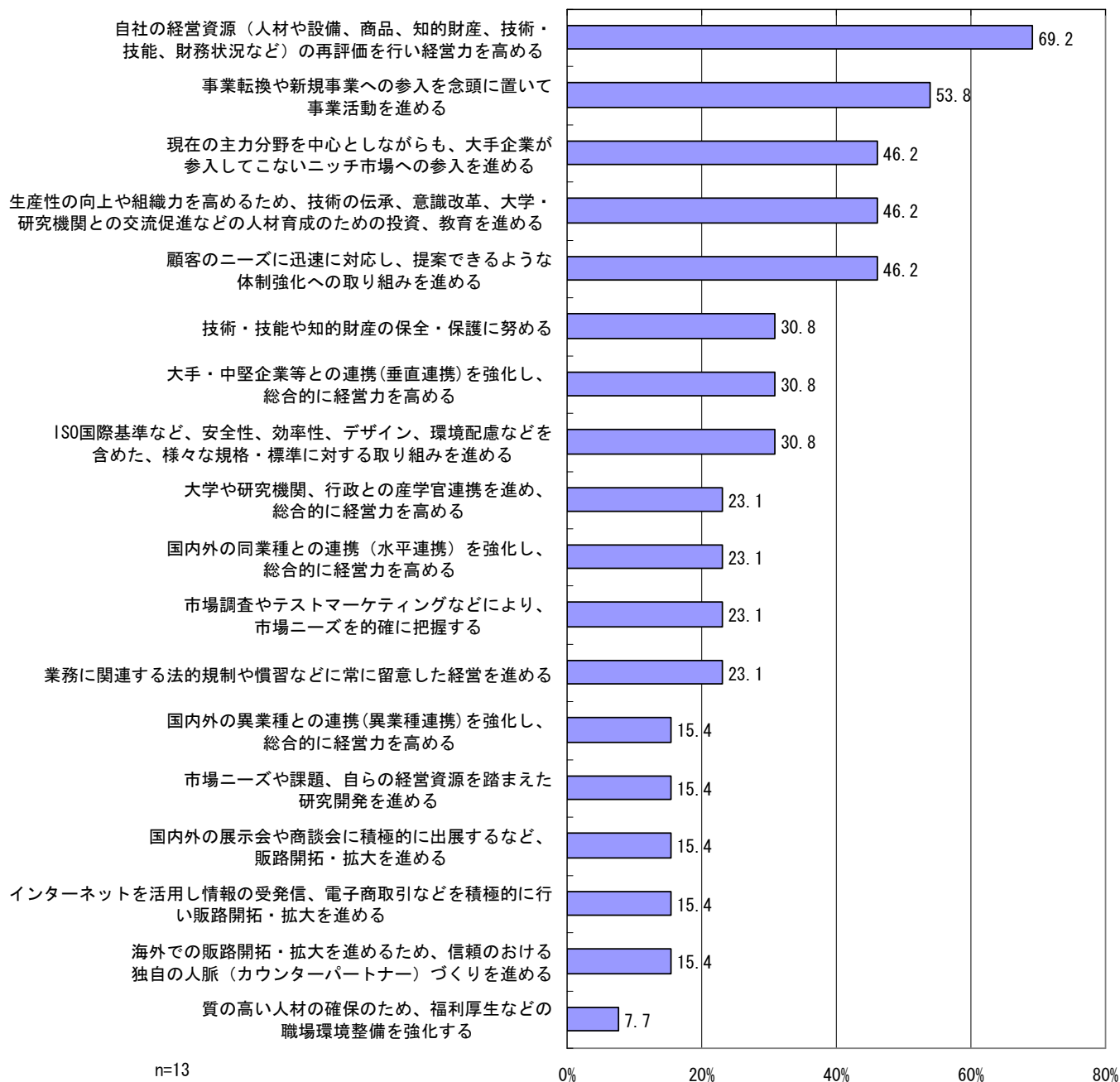
【食料品】問2：業種×問7-1：今後、成長が見込まれる分野に対して必要と考える貴事業所の取り組み（MA）



【生産用機械器具】問2：業種×問7-1：今後、成長が見込まれる分野に対して
必要と考える貴事業所の取り組み（MA）

生産用機械器具では、「自社の経営資源（人材や設備、商品、知的財産、技術・技能、財務状況など）の再評価を行い経営力を高める」という回答が最も多く 69.2%、次いで「事業転換や新規事業への参入を念頭に置いて事業活動を進める」が 53.8%となっている。

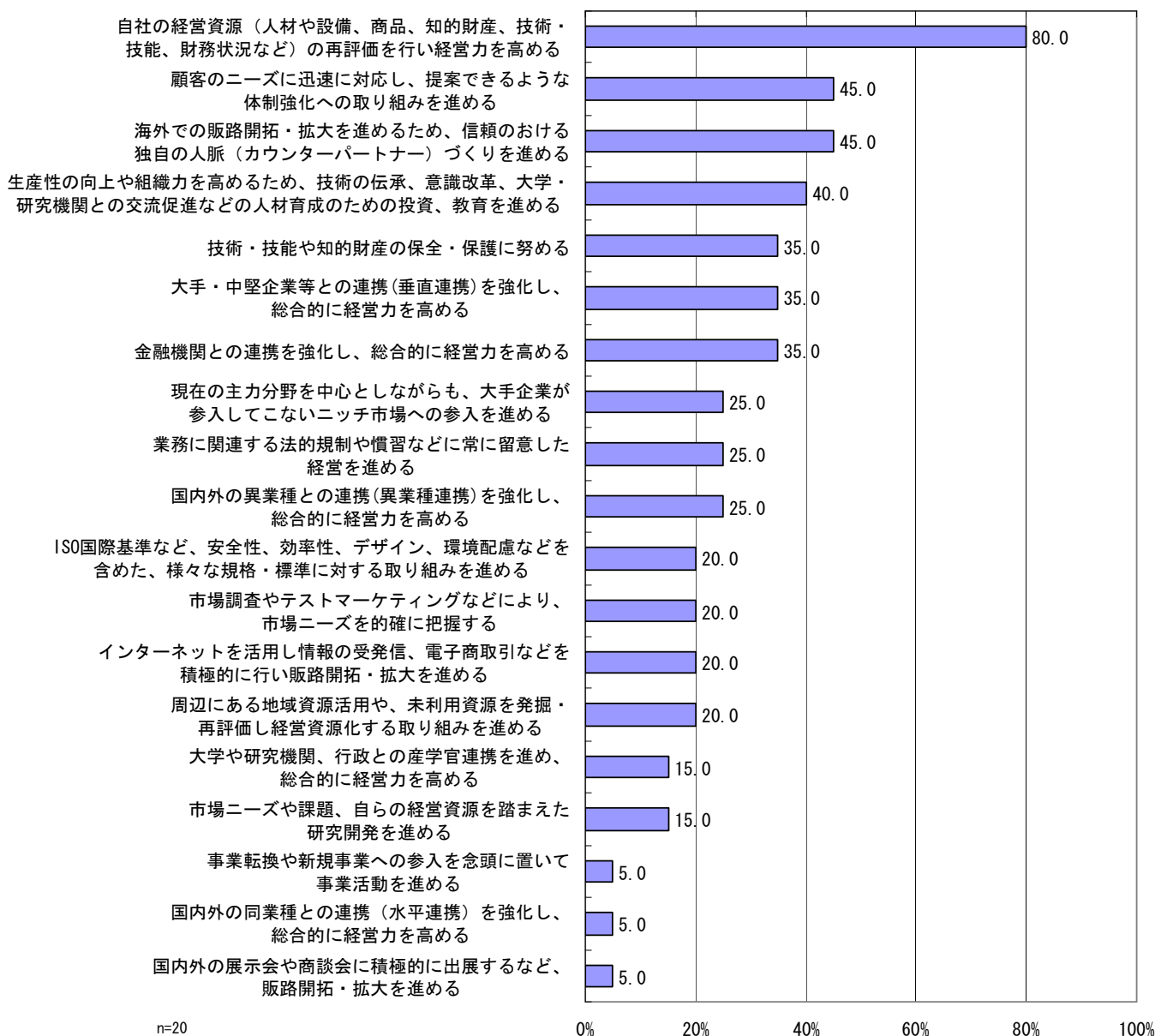
【生産用機械器具】問2：業種×問7-1：今後、成長が見込まれる分野に対して必要と考える貴事業所の取り組み（MA）



【電子部品・デバイス・電子回路】問2：業種×問7-1：今後、成長が見込まれる分野に
対して必要と考える貴事業所の取り組み（MA）

電子部品・デバイス・電子回路では、「自社の経営資源（人材や設備、商品、知的財産、技術・技能、財務状況など）の再評価を行い経営力を高める」という回答が大半を占め80.0%、次いで「顧客のニーズに迅速に対応し、提案できるような体制強化への取り組みを進める」、
「海外での販路開拓・拡大を進めるため、信頼のおける独自の人脈（カウンターパートナー）づくりを進める」が各45.0%となっている。

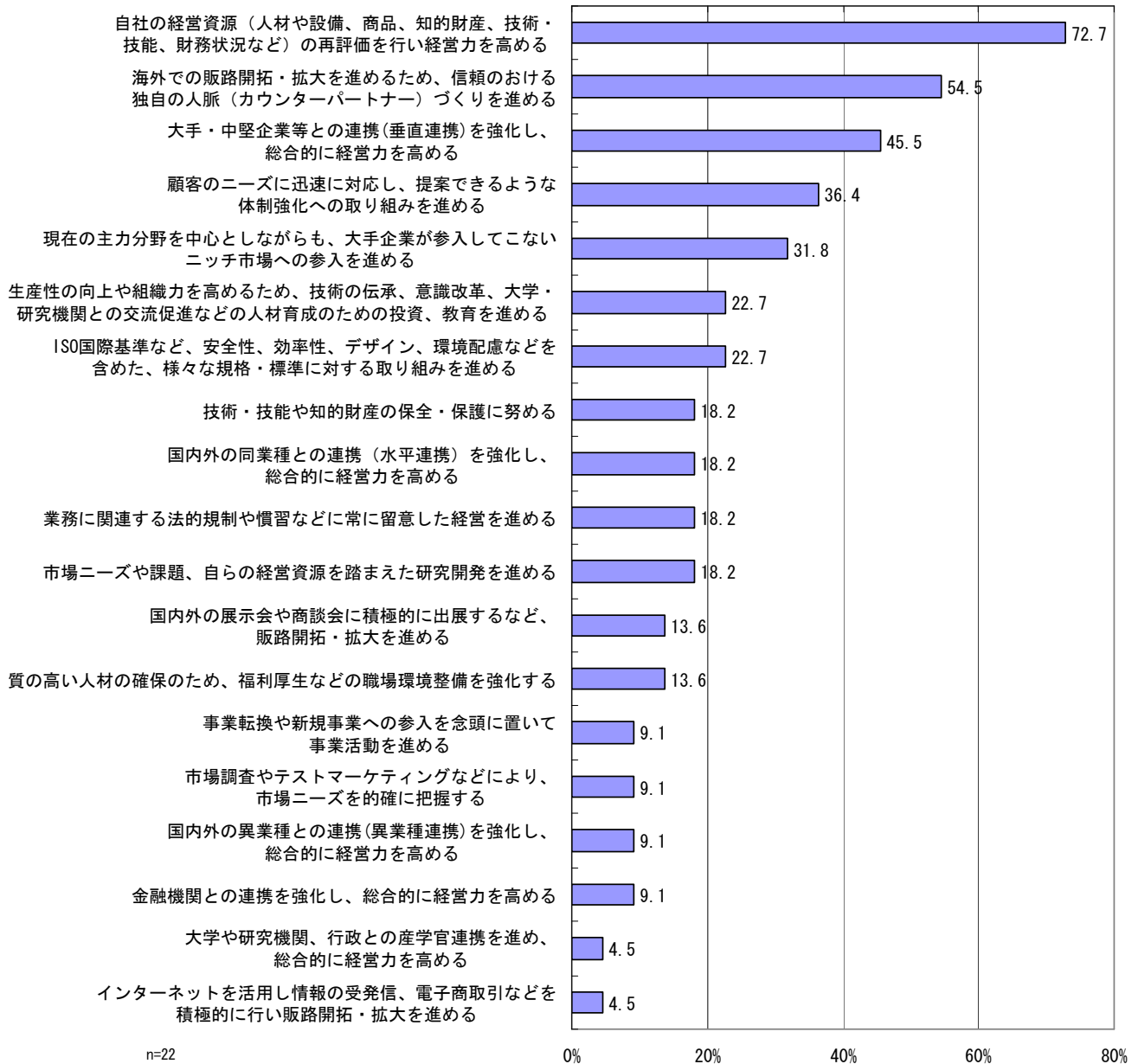
【電子部品・デバイス・電子回路】問2：業種×問7-1：今後、成長が見込まれる分野に対して必要と考える
貴事業所の取り組み（MA）



【電気機械器具】問2：業種×問7-1：今後、成長が見込まれる分野に対して必要と考える貴事業所の取り組み（MA）

電気機械器具では、「自社の経営資源（人材や設備、商品、知的財産、技術・技能、財務状況など）の再評価を行い経営力を高める」という回答が最も多く 72.7%、次いで「海外での販路開拓・拡大を進めるため、信頼のおける独自の人脈（カウンターパートナー）づくりを進める」が 54.5%、「大手・中堅企業等との連携（垂直連携）を強化し、総合的に経営力を高める」が 45.5%となっている。

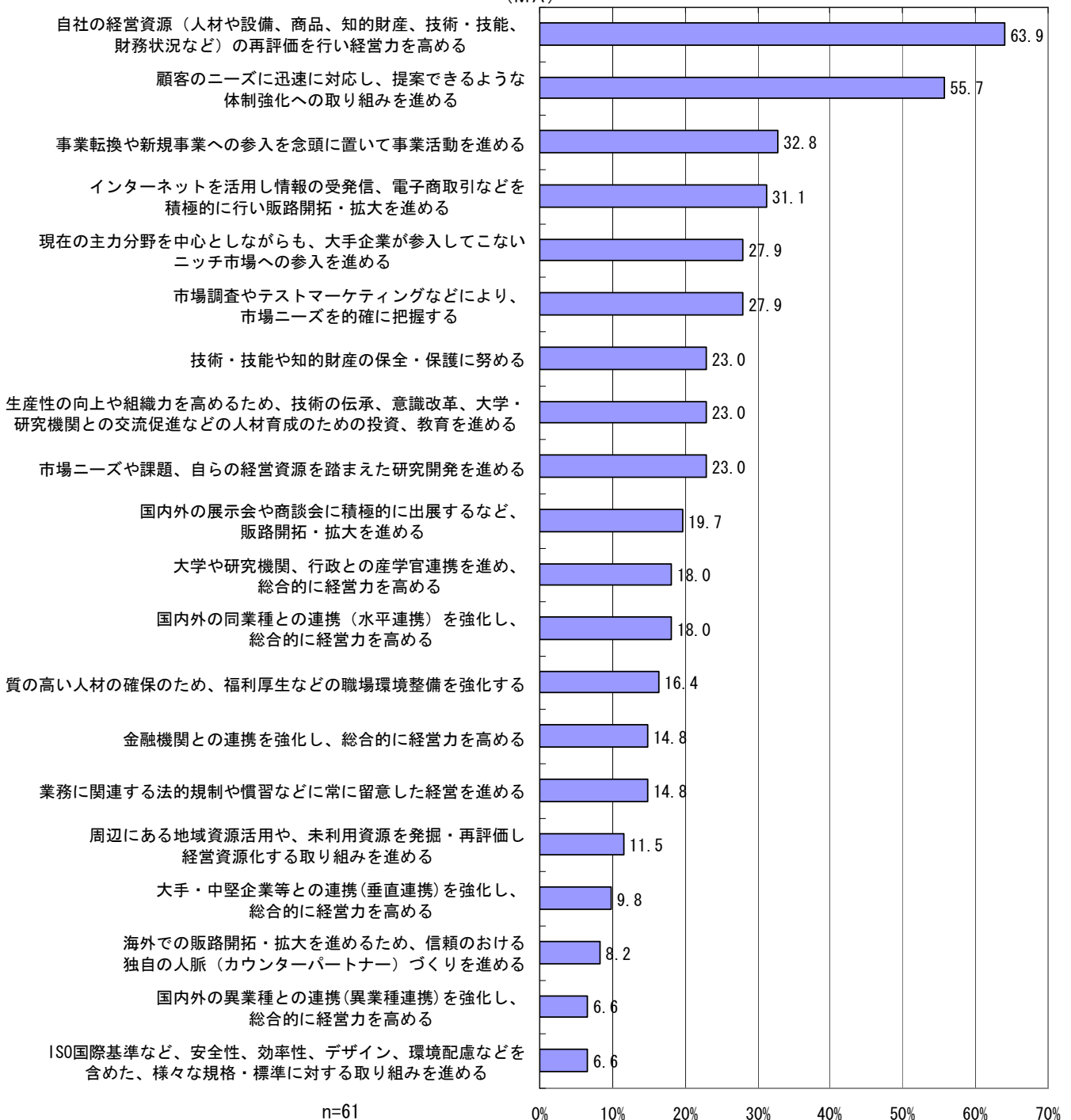
【電気機械器具】問2：業種×問7-1：今後、成長が見込まれる分野に対して必要と考える貴事業所の取り組み（MA）



【その他の製造業】問2：業種×問7-1：今後、成長が見込まれる分野に対して
必要と考える貴事業所の取り組み（MA）

その他の製造業では、「自社の経営資源（人材や設備、商品、知的財産、技術・技能、財務状況など）の再評価を行い経営力を高める」という回答が最も多く63.9%、次いで、「顧客のニーズに迅速に対応し、提案できるような体制強化への取り組みを進める」55.7%、「事業転換や新規事業への参入を念頭に置いて事業活動を進める」32.8%となっている。

【その他の製造業】問2：業種×問7-1：今後、成長が見込まれる分野に対して必要と考える貴事業所の取り組み（MA）

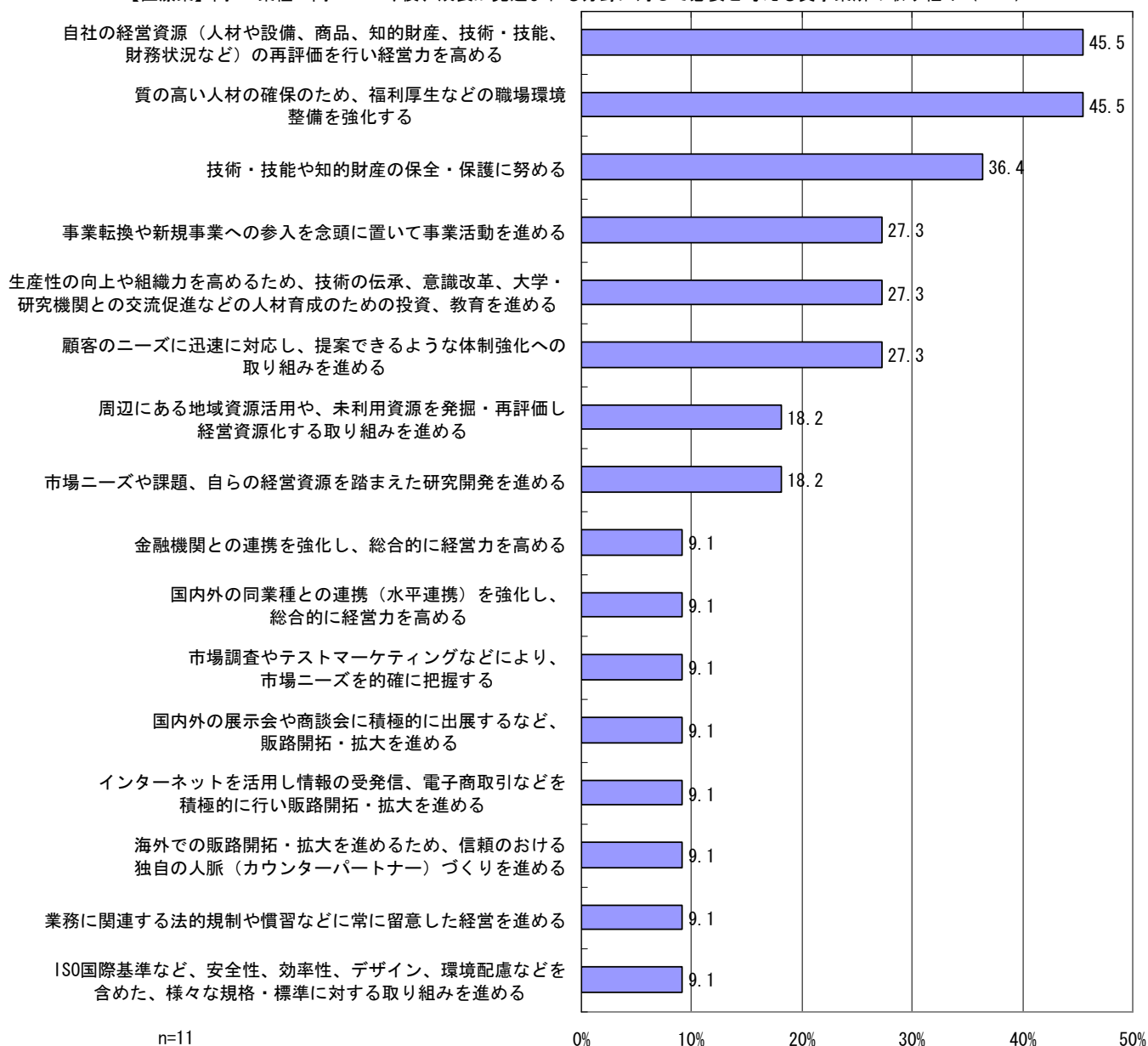


【医療業】問2：業種×問7-1：今後、成長が見込まれる分野に対して必要と考える

貴事業所の取り組み（MA）

医療業では、「自社の経営資源（人材や設備、商品、知的財産、技術・技能、財務状況など）の再評価を行い経営力を高める」、「質の高い人材の確保のため、福利厚生などの職場環境整備を強化する」という回答が最も多く各 45.5%、次いで「技術・技能や知的財産の保全・保護に努める」が 36.4%となっている。

【医療業】問2：業種×問7-1：今後、成長が見込まれる分野に対して必要と考える貴事業所の取り組み（MA）



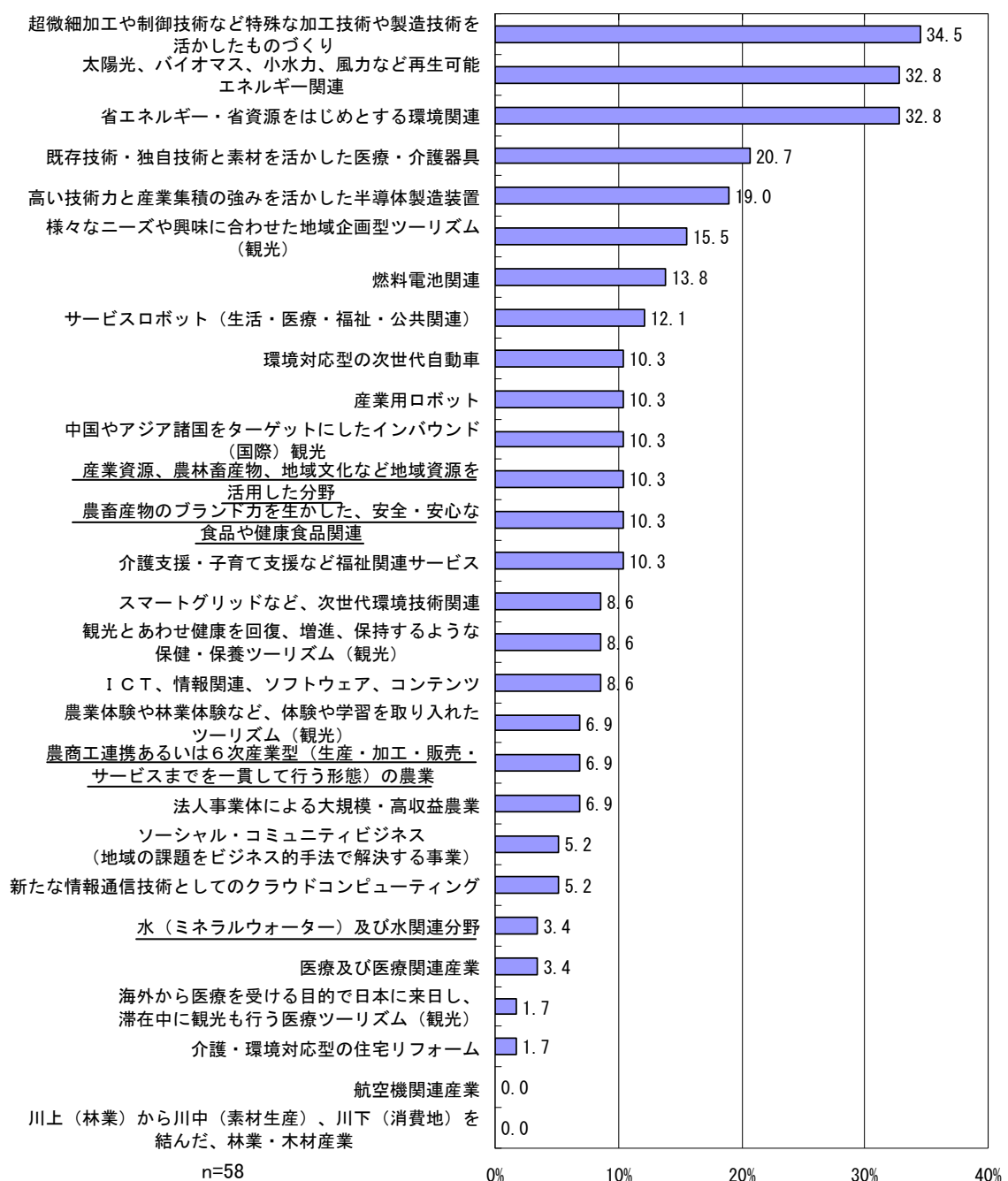
(2) 設問別クロス／問4 - 3：現在取り組んでいる事業分野における市場の将来展望

【拡大していく】問4 - 3：現在取り組んでいる事業分野における市場の将来展望

×問6 - 1：今後貴事業者が取り組むべき成長分野（MA）

現在取り組んでいる事業分野における市場の将来展望について「拡大していく」と回答した事業所が、今後取り組むべき成長分野として考えている分野は、「超微細加工や制御技術など特殊な加工技術や製造技術を活かしたものづくり」が最も多く 34.5%、次いで「太陽光、バイオマス、小水力、風力など再生可能エネルギー関連」、「省エネルギー・省資源をはじめとする環境関連」が各 32.8%となっている。

【拡大していく】問4 - 3：現在取り組んでいる事業分野における市場の将来展望
×問6 - 1：今後貴事業者が取り組むべき成長分野

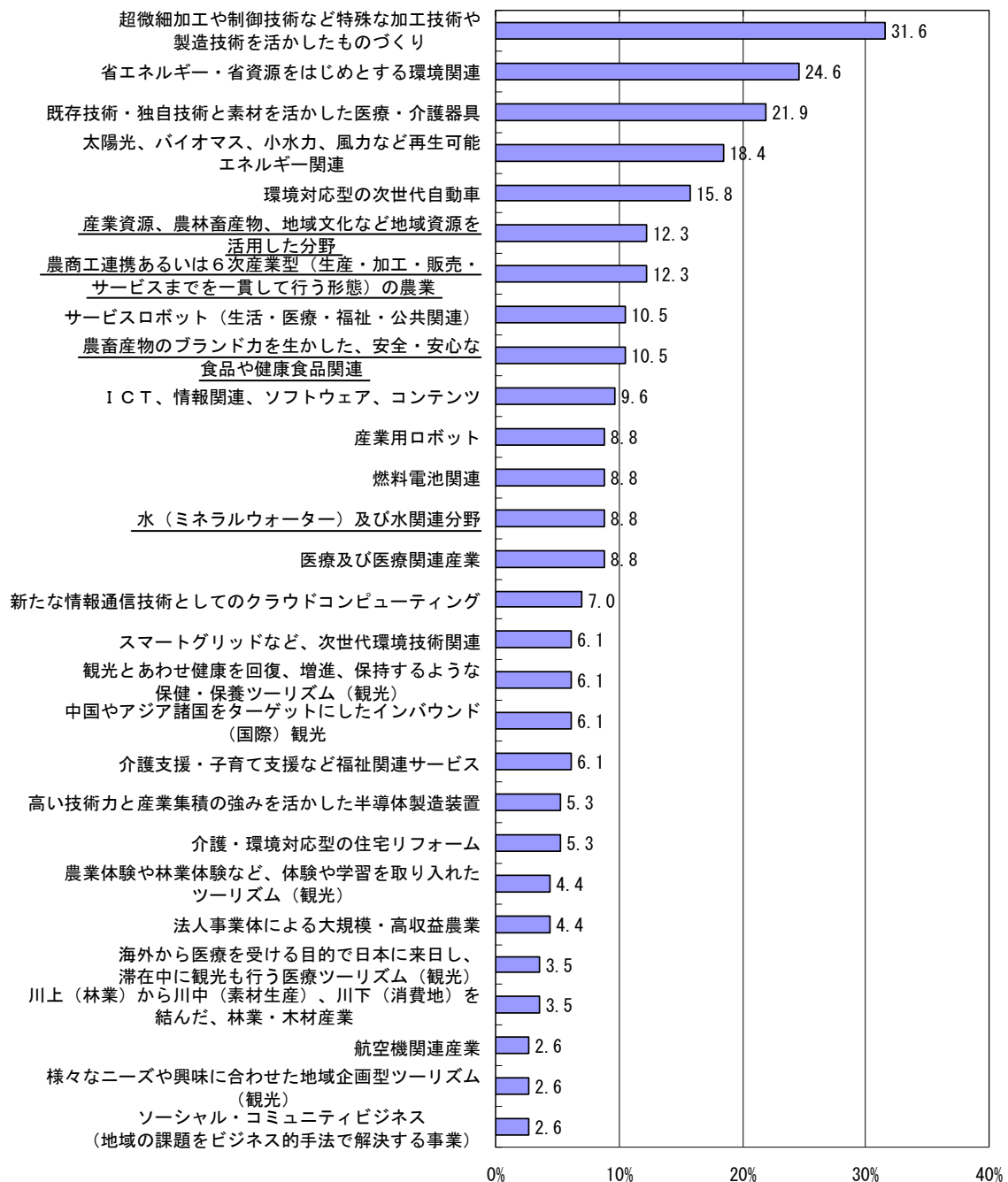


【縮小していく】問4 - 3：現在取り組んでいる事業分野における市場の将来展望

× 問6 - 1：今後貴事業者が取り組むべき成長分野（MA）

現在取り組んでいる事業分野における市場の将来展望について「縮小していく」と回答した事業所が、今後取り組むべき成長分野として考えている分野は、「超微細加工や制御技術など特殊な加工技術や製造技術を活かしたものづくり」が最も多く 31.6%、次いで「省エネルギー・省資源をはじめとする環境関連」が 24.6%、「既存技術・独自技術と素材を活かした医療・介護器具」が 21.9%、「省エネルギー・省資源をはじめとする環境関連」が 24.6%、「既存技術・独自技術と素材を活かした医療・介護器具」が 21.9%となっている。

【縮小していく】問4 - 3：現在取り組んでいる事業分野における市場の将来展望
× 問6 - 1：今後貴事業者が取り組むべき成長分野



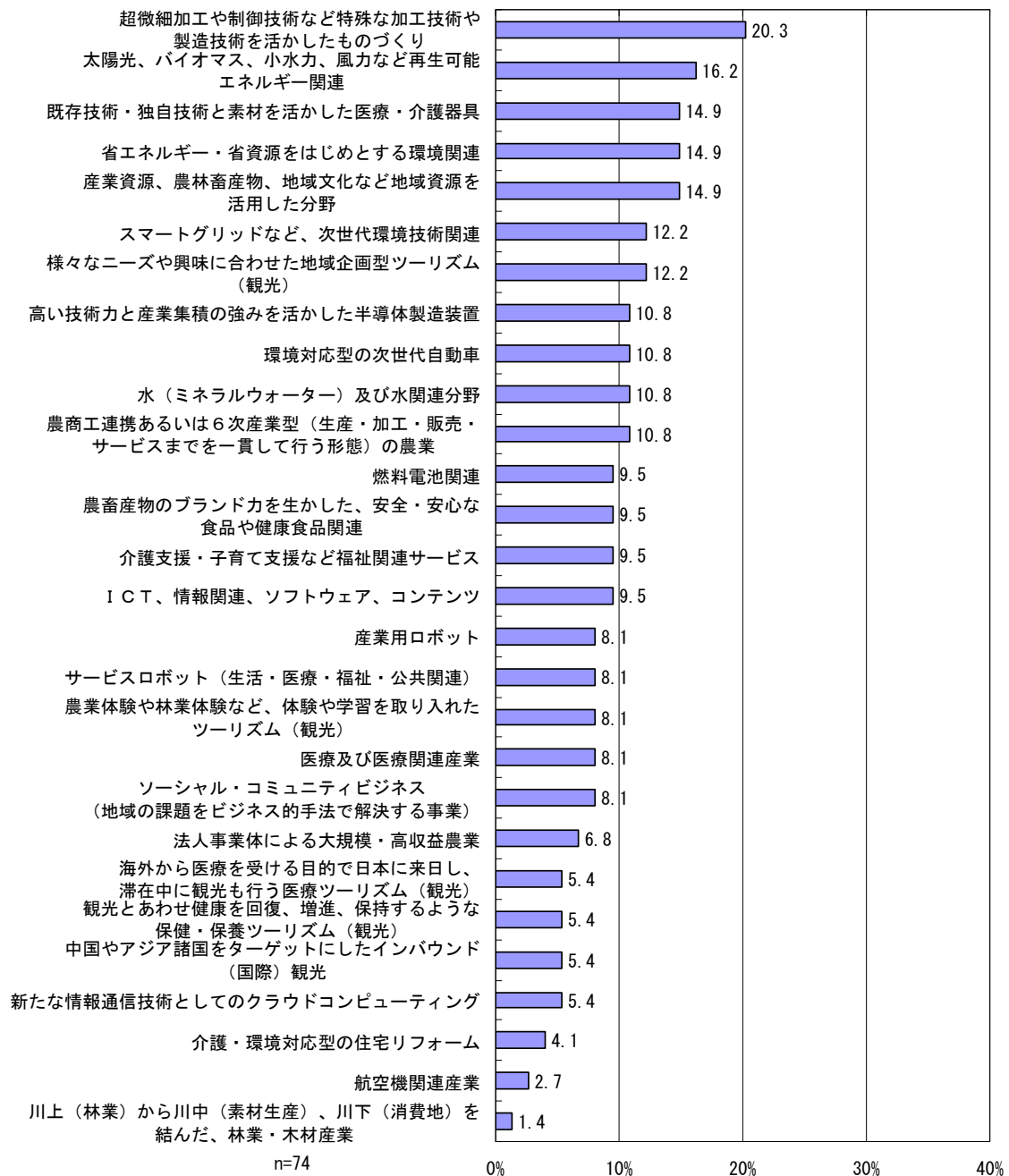
n=144

【変わらない】問4 - 3：現在取り組んでいる事業分野における市場の将来展望

×問6 - 1：今後貴事業者が取り組むべき成長分野（MA）

現在取り組んでいる事業分野における市場の将来展望について「変わらない」と回答した事業所が、今後取り組むべき成長分野として考えている分野は、「超微細加工や制御技術など特殊な加工技術や製造技術を活かしたものづくり」が最も多く20.3%、次いで「太陽光、バイオマス、小水力、風力など再生可能エネルギー関連」が16.2%となっている。

【変わらない】問4 - 3：現在取り組んでいる事業分野における市場の将来展望
×問6 - 1：今後貴事業者が取り組むべき成長分野

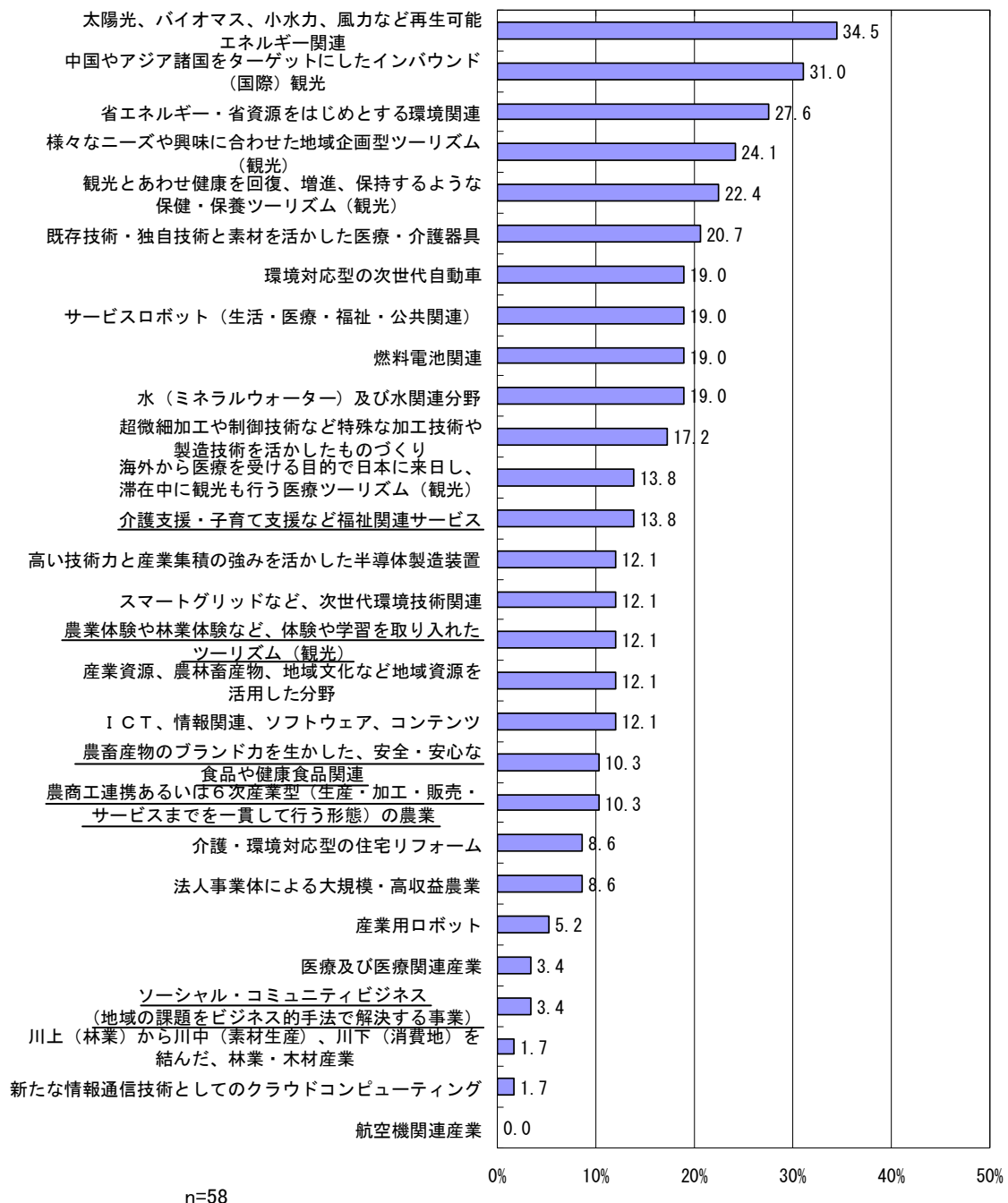


【拡大していく】問4 - 3：現在取り組んでいる事業分野における市場の将来展望

×問6 - 2：一般論として、これから山梨県産業界が目指すべき成長分野（MA）

現在取り組んでいる事業分野における市場の将来展望について「拡大していく」と回答した事業所が、一般論として、これから山梨県産業界が目指すべき成長分野として考えている分野は、「太陽光、バイオマス、小水力、風力など再生可能エネルギー関連」が最も多く34.5%、次いで「中国やアジア諸国をターゲットにしたインバウンド(国際)観光」が31.0%、「省エネルギー・省資源をはじめとする環境関連」が27.6%となっている。

【拡大していく】問4 - 3：現在取り組んでいる事業分野における市場の将来展望
×問6 - 2：一般論として、これから山梨県産業界が目指すべき成長分野

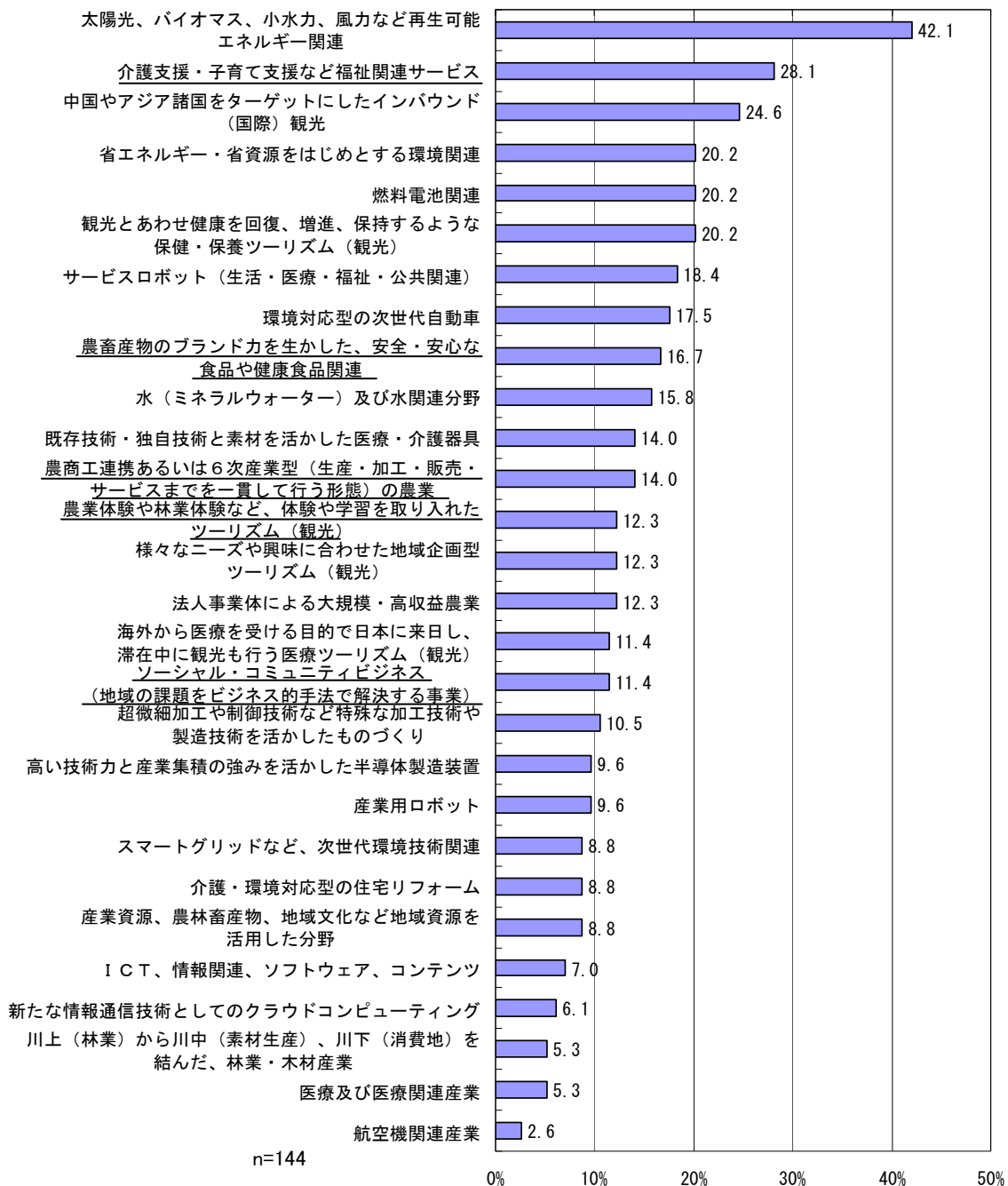


【縮小していく】問4 - 3：現在取り組んでいる事業分野における市場の将来展望

×問6 - 2：一般論として、これから山梨県産業界が目指すべき成長分野（MA）

現在取り組んでいる事業分野における市場の将来展望について「縮小していく」と回答した事業所が、一般論として、これから山梨県産業界が目指すべき成長分野として考えている分野は、「太陽光、バイオマス、小水力、風力など再生可能エネルギー関連」が最も多く42.1%、次いで「介護支援・子育て支援など福祉関連サービス」が28.1%、「中国やアジア諸国をターゲットにしたインバウンド（国際）観光」が24.6%となっている。

【縮小していく】問4 - 3：現在取り組んでいる事業分野における市場の将来展望
×問6 - 2：一般論として、これから山梨県産業界が目指すべき成長分野

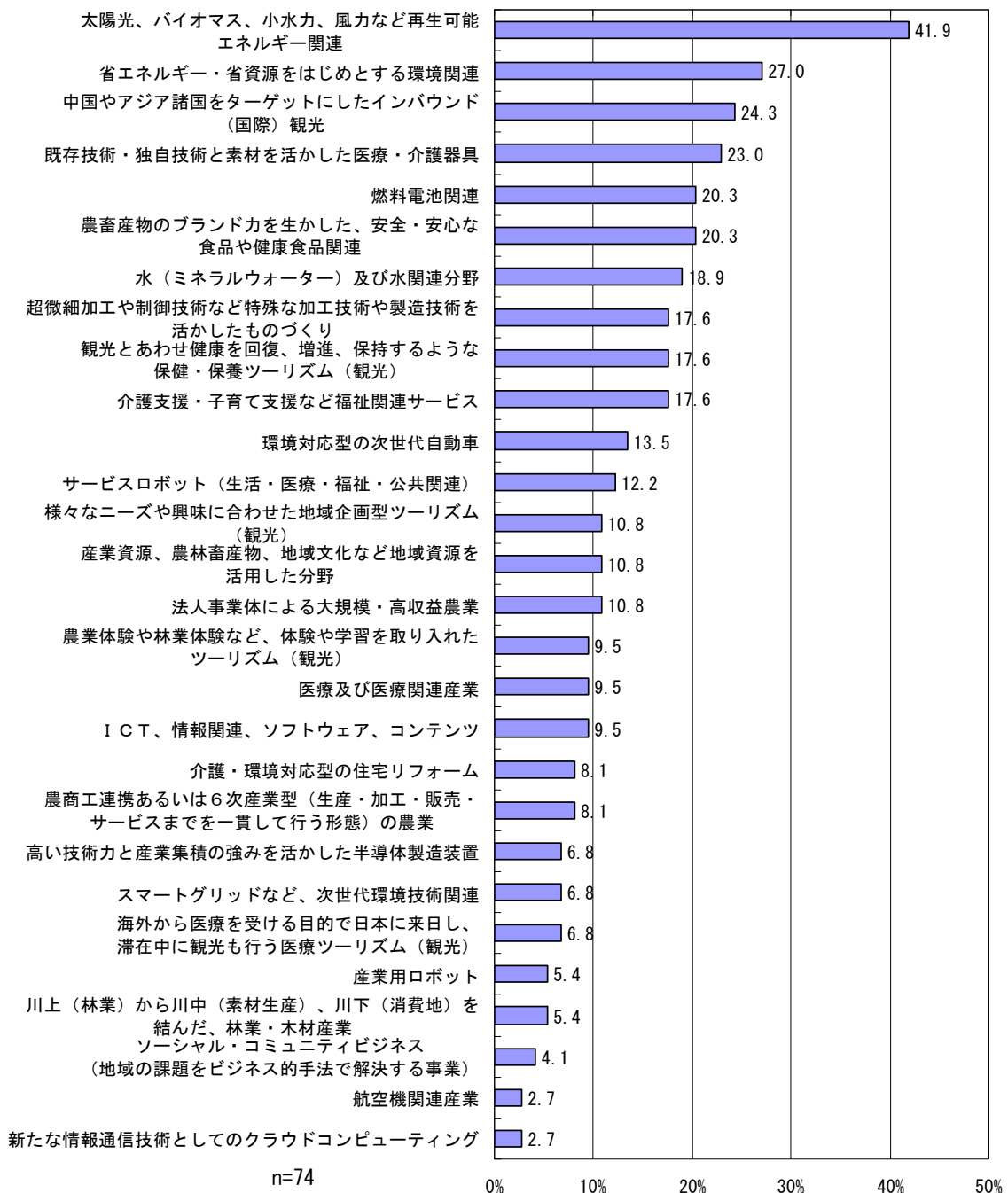


【変わらない】問4 - 3：現在取り組んでいる事業分野における市場の将来展望

×問6 - 2：一般論として、これから山梨県産業界が目指すべき成長分野（MA）

現在取り組んでいる事業分野における市場の将来展望について「変わらない」と回答した事業所が、一般論として、これから山梨県産業界が目指すべき成長分野として考えている分野は、「太陽光、バイオマス、小水力、風力など再生可能エネルギー関連」が最も多く41.9%、次いで「省エネルギー・省資源をはじめとする環境関連」が27.0%、「中国やアジア諸国をターゲットにしたインバウンド（国際）観光」が24.3%となっている。

【変わらない】問4 - 3：現在取り組んでいる事業分野における市場の将来展望
×問6 - 2：一般論として、これから山梨県産業界が目指すべき成長分野



(3) 設問別クロス／問4 - 4：当該市場における貴事業所のシェアはどのように考えるか

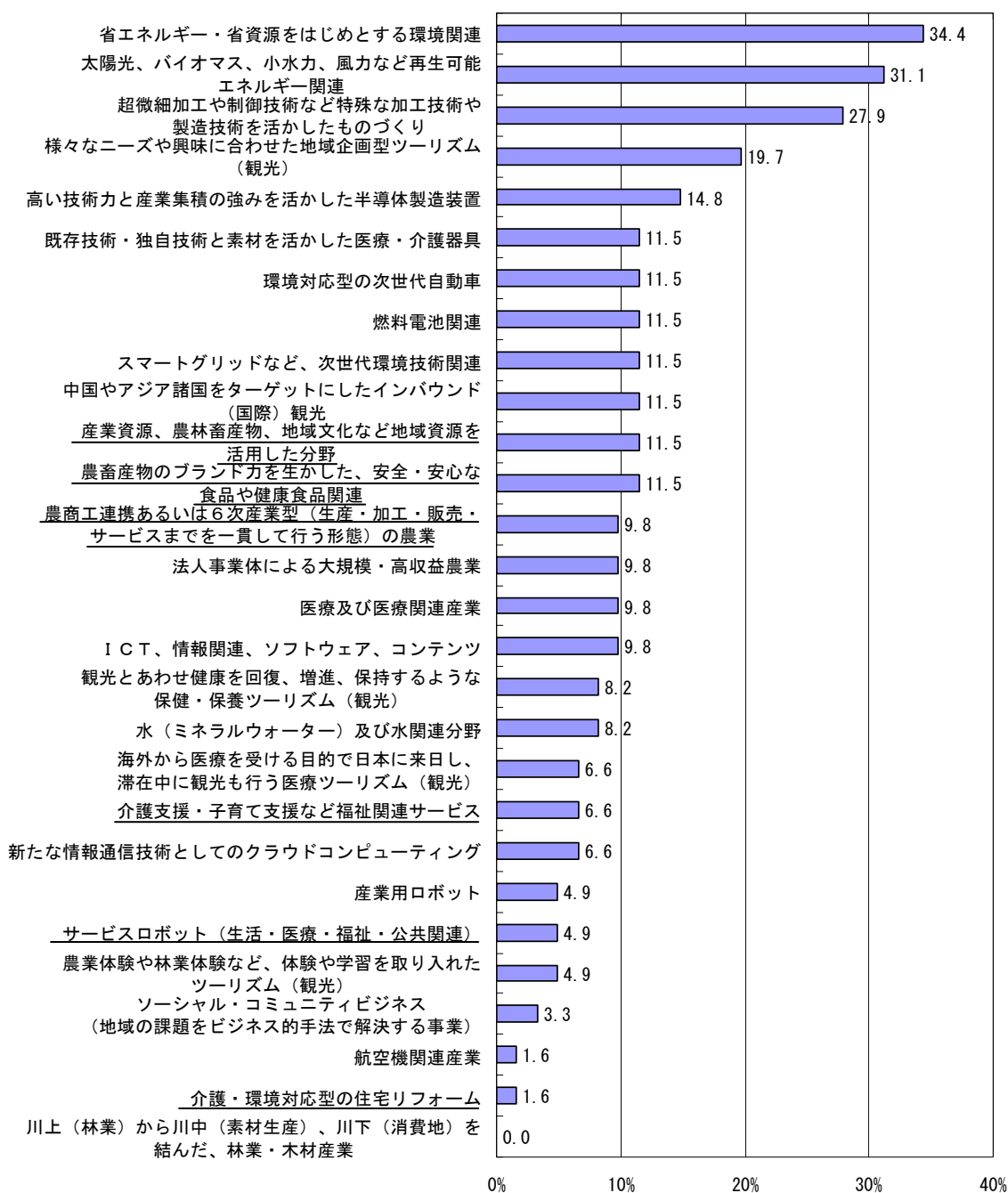
【拡大していく】問4 - 4：当該市場における貴事業所のシェアはどのように考えるか

× 問6 - 1：今後貴事業者が取り組むべき成長分野（MA）

当該市場における回答事業所の市場シェアの変化予測について「拡大していく」と回答した事業所が、今後取り組むべき成長分野として考えている分野は、「省エネルギー・省資源をはじめとする環境関連」が最も多く 34.4%、次いで「太陽光、バイオマス、小水力、風力など再生可能エネルギー関連」31.1%、「超微細加工や制御技術など特殊な加工技術や製造技術を活かしたものづくり」27.9%となっている。

【拡大していく】問4 - 4：当該市場における貴事業所のシェアはどのように考えるか

× 問6 - 1：今後貴事業者が取り組むべき成長分野



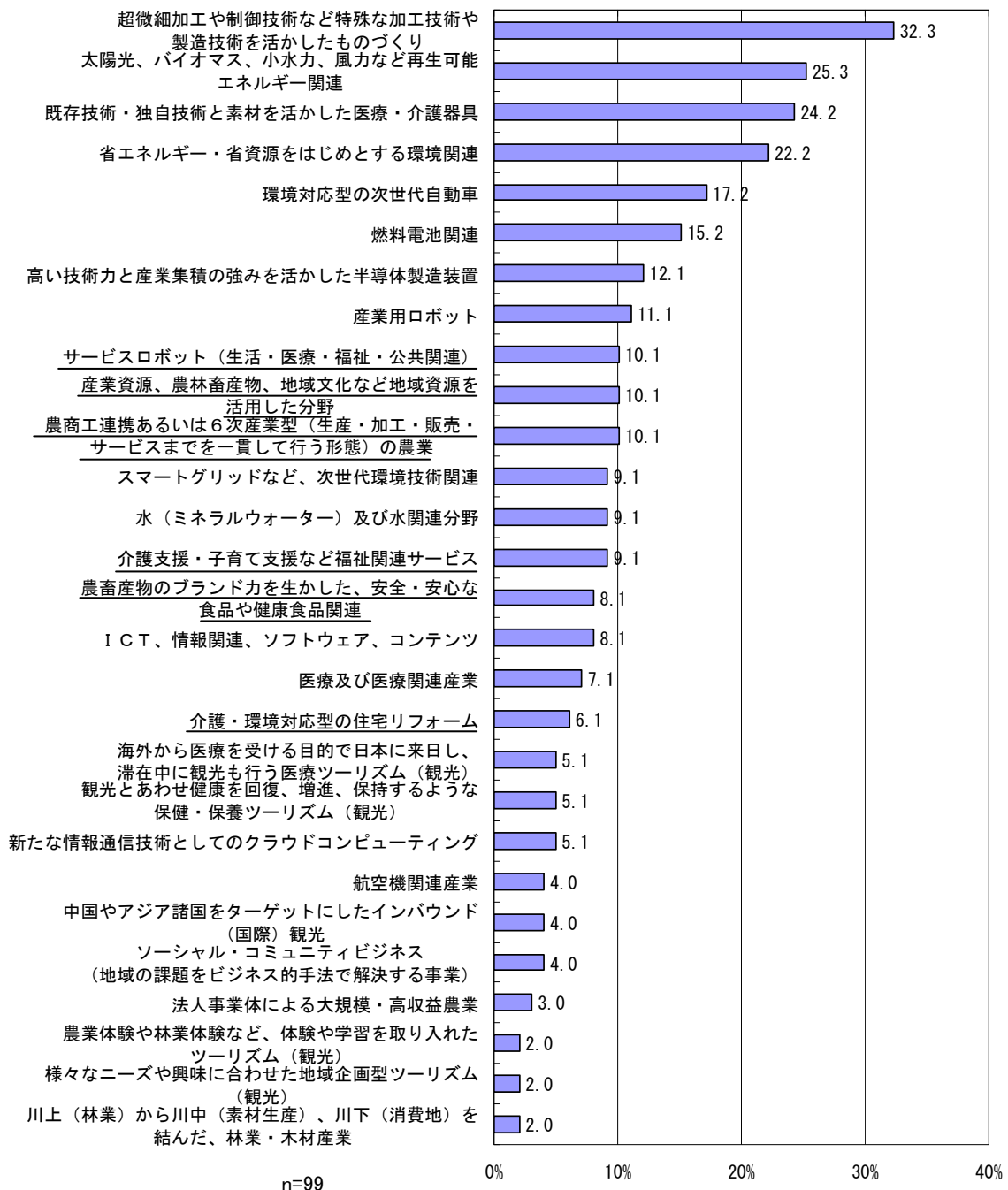
【縮小していく】問4-4：当該市場における貴事業所のシェアはどうなると考えるか

×問6-1：今後貴事業者が取り組むべき成長分野（MA）

当該市場における回答事業所の市場シェアの変化予測について「縮小していく」と回答した事業所が、今後取り組むべき成長分野として考えている分野は、「超微細加工や制御技術など特殊な加工技術や製造技術を活かしたものづくり」が最も多く 32.3%、次いで「太陽光、バイオマス、小水力、風力など再生可能エネルギー関連」が 25.3%、「既存技術・独自技術と素材を活かした医療・介護器具」が 24.2%となっている。

【縮小していく】問4-4：当該市場における貴事業所のシェアはどうなると考えるか

×問6-1：今後貴事業者が取り組むべき成長分野

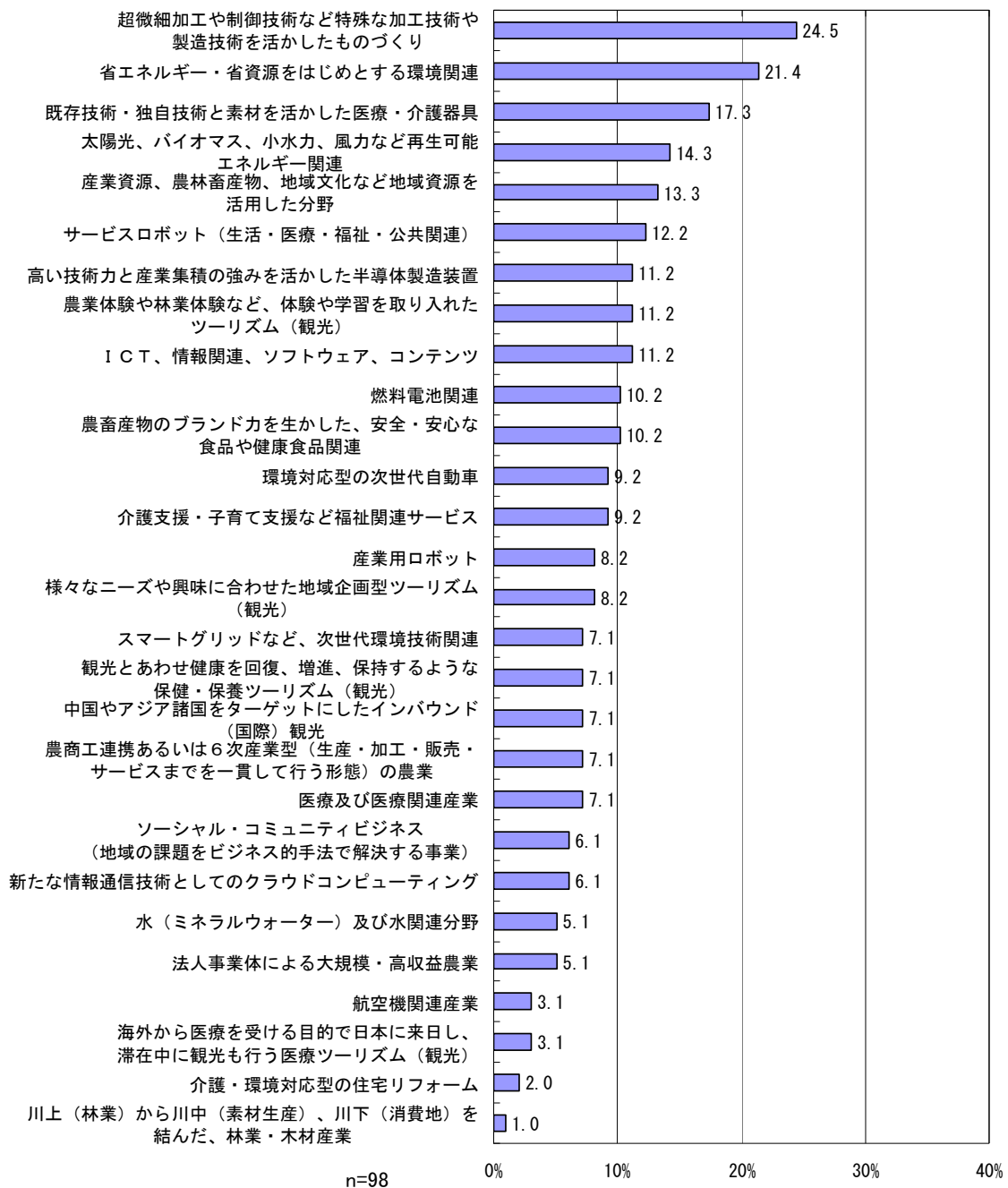


【変わらない】問4-4：当該市場における貴事業所のシェアはどうなると考えるか

×問6-1：今後貴事業者が取り組むべき成長分野（MA）

当該市場における回答事業所の市場シェアの変化予測について「変わらない」と回答した事業所が、今後取り組むべき成長分野として考えている分野は、「超微細加工や制御技術など特殊な加工技術や製造技術を活かしたものづくり」が最も多く 24.5%、次いで「省エネルギー・省資源をはじめとする環境関連」21.4%、「既存技術・独自技術と素材を活かした医療・介護器具」が 17.3%となっている。

【変わらない】問4-4：当該市場における貴事業所のシェアはどうなると考えるか
×問6-1：今後貴事業者が取り組むべき成長分野

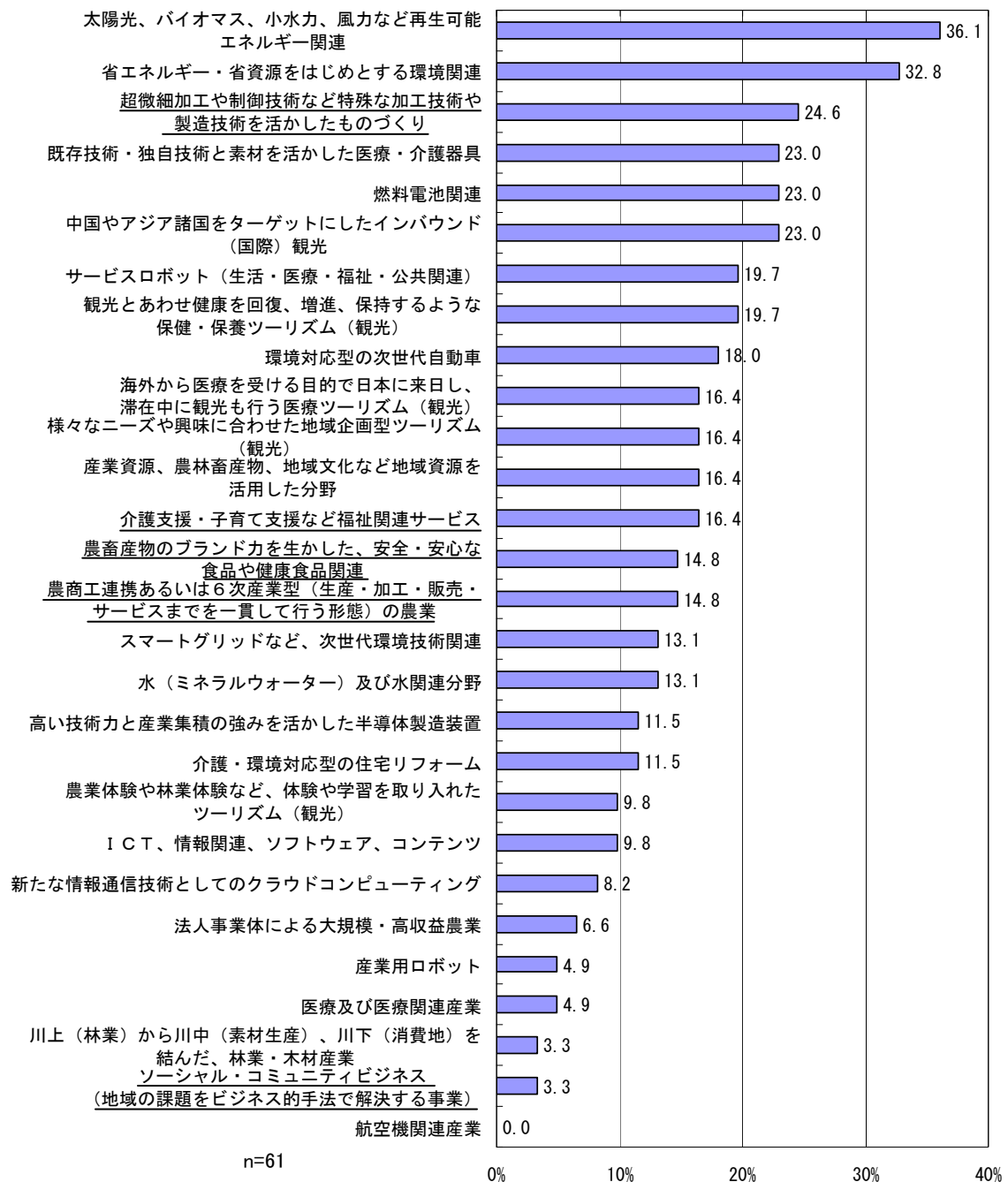


【拡大していく】問4-4：当該市場における貴事業所のシェアはどうなると考えるか

×問6-2：一般論として、これから山梨県産業界が目指すべき成長分野（MA）

当該市場における回答事業所の市場シェアの変化予測について「拡大していく」と回答した事業所が、一般論として、これから山梨県産業界が目指すべき成長分野として考えている分野は、「太陽光、バイオマス、小水力、風力など再生可能エネルギー関連」が最も多く36.1%、次いで「省エネルギー・省資源をはじめとする環境関連」が32.8%、「超微細加工や制御技術など特殊な加工技術や製造技術を活かしたものづくり」が24.6%となっている。

【拡大していく】問4-4：当該市場における貴事業所のシェアはどうなると考えるか
×問6-2：一般論として、これから山梨県産業界が目指すべき成長分野



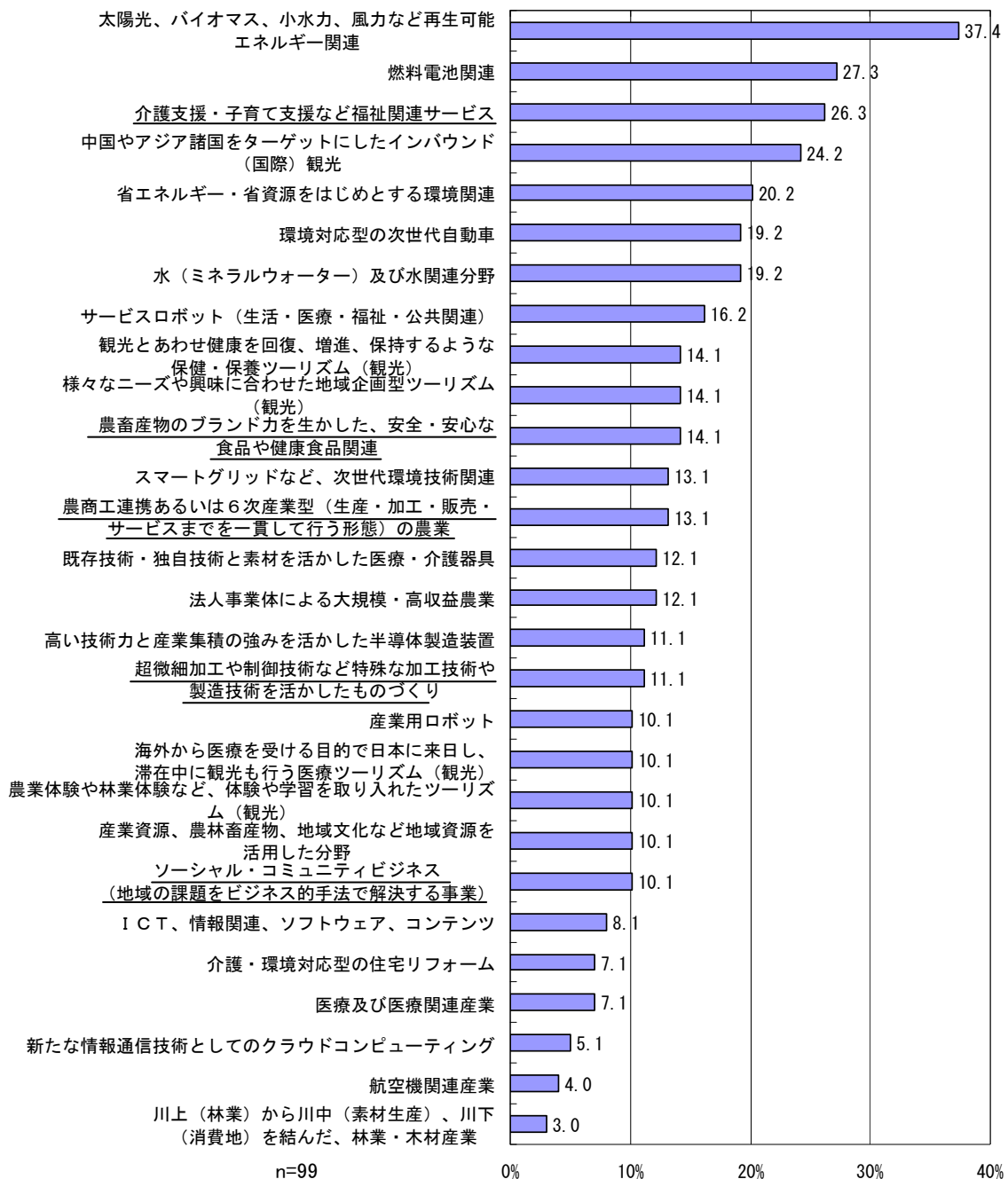
【縮小していく】問4-4：当該市場における貴事業所のシェアはどうなると考えるか

×問6-2：一般論として、これから山梨県産業界が目指すべき成長分野（MA）

当該市場における回答事業所の市場シェアの変化予測について「縮小していく」と回答した事業所が、一般論として、これから山梨県産業界が目指すべき成長分野として考えている分野は、「太陽光、バイオマス、小水力、風力など再生可能エネルギー関連」が最も多く37.4%、次いで「燃料電池関連」が27.3%、「介護支援・子育て支援など福祉関連サービス」が26.3%となっている。

【縮小していく】問4-4：当該市場における貴事業所のシェアはどうなると考えるか

×問6-2：一般論として、これから山梨県産業界が目指すべき成長分野



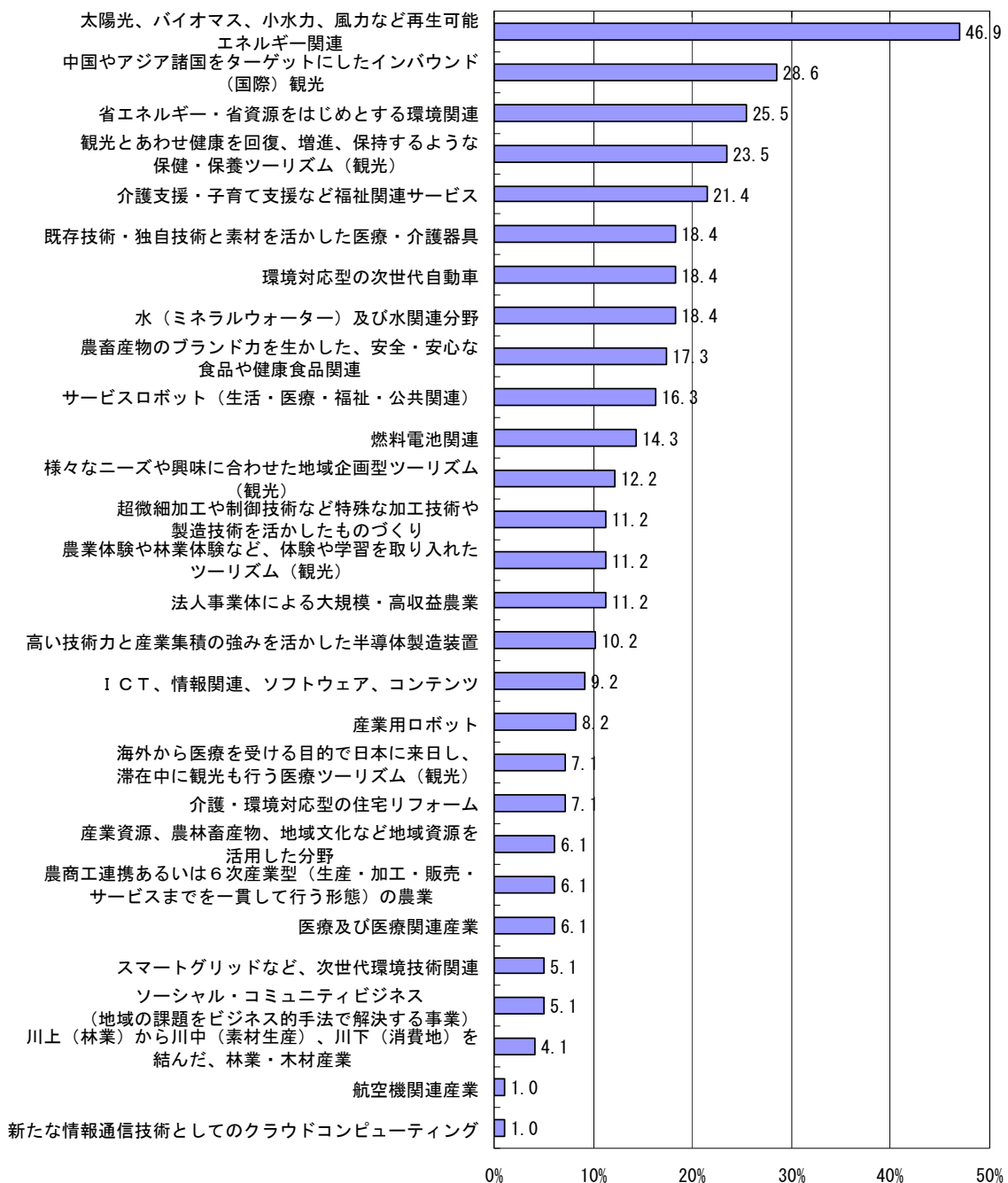
【変わらない】問4-4：当該市場における貴事業所のシェアはどのように考えるか

×問6-2：一般論として、これから山梨県産業界が目指すべき成長分野（MA）

当該市場における回答事業所の市場シェアの変化予測について「変わらない」と回答した事業所が、一般論として、これから山梨県産業界が目指すべき成長分野として考えている分野は、「太陽光、バイオマス、小水力、風力など再生可能エネルギー関連」が最も多く46.9%、次いで、「中国やアジア諸国をターゲットにしたインバウンド（国際）観光」が28.6%、「省エネルギー・省資源をはじめとする環境関連」が25.5%となっている。

【変わらない】問4-4：当該市場における貴事業所のシェアはどのように考えるか

×問6-2：一般論として、これから山梨県産業界が目指すべき成長分野



n=98